

707
707-68
1200501583780

農林省畜產局編
第一回九州聯合畜產共進會
全國肉用畜產博覽會
審查復命書



707
68

第五回近畿_{二府}聯合畜產共進會
第八回九州_{五縣}聯合畜產共進會
全國肉用畜產博覽會

審查復命書

農林省畜產局

8-6-b

同 寄贈本

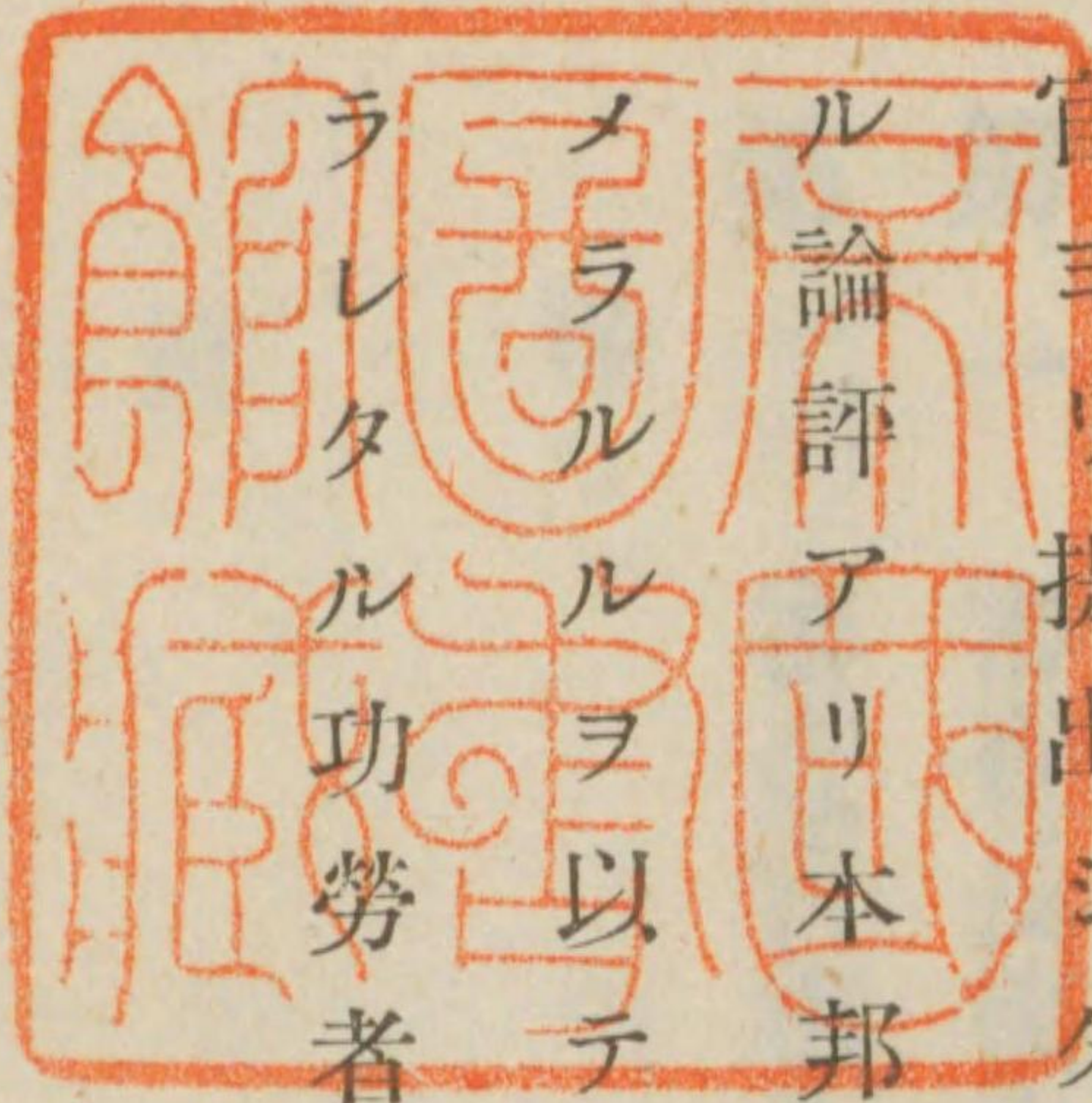
昭和十年度ニ於テ開設セラレタル近畿九州ノ各聯合畜産共進會及全國肉用畜産博覽會ノ審査長及審査

官ヨリ提出シタル復命書ニハ各種出品ニ關シ精細ナ

ル論評アリ本邦畜産ノ改良上有益ナル參考資料ト認

メラルルヨ以テ右各共進會褒賞授與式ニ於テ授與セ

ラレタル功勞者ノ表彰文ヲ附記シ之ヲ印刷ニ附セ



昭和十一年三月



農林省畜産局

707-68

第五回近畿_{二府五縣}聯合畜產共進會

目次

第一、審查長復命

農林技師

釘

本

昌

二

第二、審查官復命

種

牛

畜產試驗場技師

羽

部

義

孝

種

牛

農林技師

田

口

教

一

肉

牛

農林技師

平

居

芳

三

郎

肉

豚

警視廳技師

池

上

幸

健

種

豚

畜產試驗場技師

中

原

重

樹

種

豚

農林技師

三

宅

三

郎

種

雞

種雞場技師

大

島

德

重

種

雞

同

伊

藤

帷

吉



寄本

第八回九州聯合畜産共進會

第一、審査長復命

農林技師

横 宇屋 三 潤

第二、審査官復命

種 牛

畜産試験場技師

羽 部 義 孝

肉 牛

農林技師

田 口 教 一

種 馬

農林技師

佐 々 田 伴 久

種 小

同

廣 瀨 利 一 郎

役 審査官馬命

農林技師

佐 藤 繁 雄

第一、審査官復命

農事試験場技師

正 村 慎 三 郎

第八回九州聯合畜産共進會

正 六 位

田 村 新 八

陸軍一等獸醫

佐 山 作 次 郎

農林技師

野 本 宇 兵 衛

種 緬 羊

種羊場技師

岡 本 正 行

種 豚 及 種 鷄

農林技師

長 尾 秋 雄

畜産試験場技師

芝 田 清 吾

種鷄場技師

神 尾 正 夫

畜産試験場技師

中 江 利 郎

農林技師

小 林 正 重 郎

畜産製造品

畜産ニ關係アル農具及器具機械

全國肉用畜産博覽會

第一、審査長復命

畜産試験場技師

釘 本 昌 江

第二、審査官復命

肉 牛

農林技師

平 居 芳 三 郎

肉 粗

警視廳技師

池 上 幸 健

農林技師

布 口 村 繁

第五回近畿二府五縣聯合畜産共進會

功勞者表彰文

肉製品

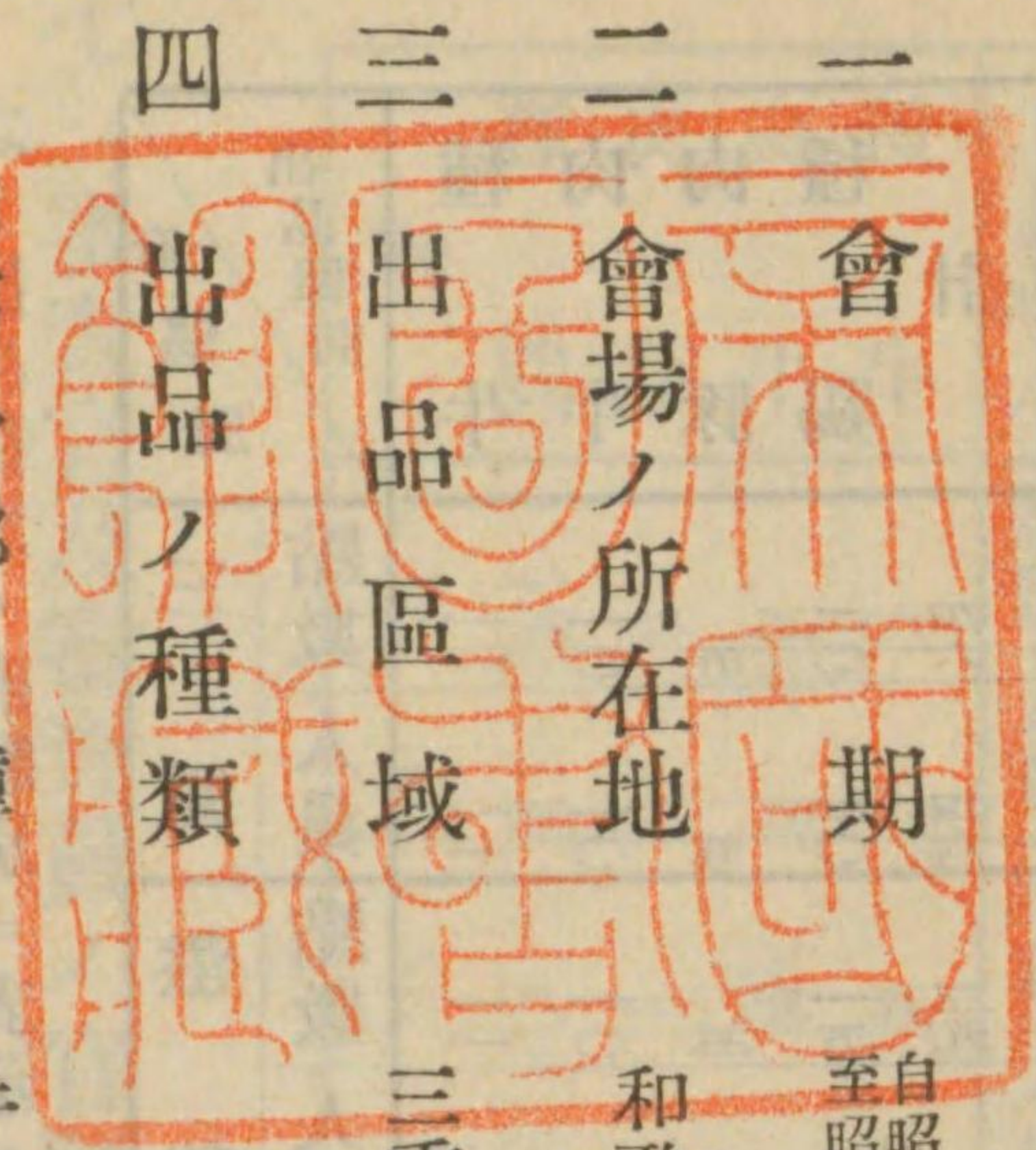
肉 緬甸羊

肉 豚

同	畜産試驗場技師	田口教一
同	畜産試驗場技師	羽部義孝
同	農林技師	中原重樹
同	農林技師	長尾秋雄
同	種羊場技師	岡本正行
同	農林技師	近藤次郎
同	畜産試驗場技師	中江利郎
同	畜産試驗場技師	中原重樹

第一 審査長復命

審査長 農林技師 釘本昌二



一 會期

自昭和十年十月三日
至昭和十年十月七日 五日間

二 會場ノ所在地

和歌山縣和歌山市歩兵第六十一聯隊練兵場

三 出品區域

三重縣、滋賀縣、京都府、大阪府、兵庫縣、奈良縣、和歌山縣

四 出品ノ種類

第一部 種牛

第二部 肉牛

第三部 肉豚

第四部 種鶏

第五部 參考品

第一部 肉牛

主任 審查官 農林技師 五十嵐謙三
同 畜産試験場技師 梶田精一

主任 審查官 農林技師 平居芳三郎

同 警視廳技師 池上幸健

審查員 畜産試験場技師 橋本平九郎

同 同 石原盛衛

第二部 肉豚

主任 審查官 畜産試験場技師 中原重樹

同 農林技師 三宅三郎

審查員 畜産試験場技師 吉川徹雄

第四部 種鶏

主任 審查官 種鶏場技師 大島徳重

同 伊藤 韋吉
審查員 農林技師 工藤 勘八郎

八 出品ノ批評及前回トノ比較

本會ニ於テ審査ヲ受ケタル出品ノ種類ハ從來ニ等シク種牛・肉牛・肉豚・種鶏ノ四部ニ亘リ其ノ出品點數二百四十八點、出品人員二百四十五人ニシテ之ヲ前回ニ比スレバ出品點數ニ於テ一點ヲ減ジタルノミナリ

左ニ各部出品ニ關スル講評ヲ記述スベシ

第一部 種牛

種牛ノ出品中乳用種ニ屬スルモノハ牡二頭・牝二十八頭ニシテ殆ド全テ登録ホルスタイン純粹種ナリ。牝牛ハ前回ニ比シ形態優良ナルモノ多ク又血統ニ於テハ特ニ傑出シタルモノナシト雖一般ニ向上進步ノ蹟ヲ認メ得ベシ然レドモ體軀多クハ緊縮シ或ハ菲薄ニシテ體積ニ乏シク又乳房容積小ニシテ特ニ前乳房ノ發達不良ナルモノ多ク且又乳房ノ實質硬化セルモノ尠カラズ。而シテ前回ト同様大體ニ於テ發育不全ニシテ精氣ニ乏シク早老ノ觀アルハ育成法ノ失宜ニヨルモノト謂ハザルベカラズ

三重縣ノ出品ニハ一、二相當ノモノアルモ概シテ氣品ニ乏シク、滋賀縣ノ出品ハ比較的良好ナルモノアルモ大サ充分ナラズ、京都府ノ出品ハ比較的體積ニ富ミ均稱亦佳良ナルモノアルモ乳徵ニ乏シ、大阪府ノ出品ハ系統ニ於テ向上ノ蹟アルモ飼養管理ノ失宜ニ依ル缺點多シ、其容積小ニシテ、役肉用種ニ屬スルモノハ牡一頭・牝三十八頭ニシテ一般ニ資質向上・毛色統一ノ傾向著シク形態ノ改良整一ニ一段ノ進境ヲ示シ、二地方ヲ除ク外聯合各府縣間ニ於ケル優劣ノ等差ヲ漸次減少シツツアリ又從來ニ比シ適齡ニ於テ交配セルモノ多キハ種牛利用上喜ブベキコトナリトス、通有的ニ最モ缺點トスル所ハ體格纖弱ニシテ泌乳器及肢蹄ノ不良ナルコトニアリ又中ニ過肥ニ陥ラシメ爲ニ體軀ノ弛緩ヲ來タセルモノ尠カラズ

京都府ノ出品ハ概シテ體積アルモ體尺低ク育成飼養法ノ改善ニ餘地多キガ如ク又臀部ノ形容宜シカラズ、和歌山縣ノ出品ハ多クハ體積ニ富ミ體軀均稱ヲ得優劣ノ差尠キハ賞スベキモ資質佳良ナラズ將來優良基礎畜ノ充實ニ努ムルノ要切ナリ又臍ノ位置及肢蹄ノ不良ナルモノ、過肥ニ陥レルモノ多シ、奈良縣ノ出品ハ改善ノ蹟ヲ認ムルモ他地方ノ進歩ニ比シ尙遲々タルノ觀アリ、三重縣ノ出品ハ若齡ノモノ多ク側望宜シキモ幅及深ミニ乏シク步履不良ナリ特ニ幼時ノ育成法ニ留意ヲ要ス

第一部 肉 牛

肉牛ノ出品ハ和牛牝四十九頭ニシテ體型・資質良ク精選セラレ從來ノ後進地方ニ一大躍進ヲ示シタルモノアル等前回ニ比シ一段ノ進展ヲ現出シ茲ニ本邦肉牛ノ豪華版ヲ展開シタルノ觀アルハ欣快ニ堪ヘザル所ナリ、出品中外觀上優良ナリト認メタルモノ六頭ヲ屠殺解體シ精査セル成績ニ徴スルニ屠肉量ノ割合ハ平均六割七分餘ニ達シ又肉付・肉質共ニ佳良ニシテ脂肪交雜ノ狀態益改善セラレタルヲ認メタリ然レドモ中ニ肉及脂肪ノ光澤宜シカラザルモノ及筋纖維ノ幾分粗キモノアリ又外觀ニ於テハ從來ニ比シ著シク大貫物及肥臍過度ノモノヲ減ジタリト雖一面肥臍未熟ノモノヲ増加シタルノ憾アリ尙資質粗野ナルモノ、胴詰リノモノ及後軀ノ發達・肉付不良ナルモノ尠カラズ又中ニ著シク牛體ノ手入ヲ怠リ飼養管理上熱意ノ不足ヲ示セルモノアリシヲ遺憾トス、將來益本邦產牛ノ改良方針ト市場ノ要求トヲ照合考究スルト共ニ肥臍技術ノ研鑽ヲ怠ラズ以テ本會ノ出品ニ依リ本邦ニ於ケル牛ノ肥育事業ニ對スル指針ノ一層明確ニ範示サルベキヲ期待スルモノナリ

滋賀縣ノ出品ハ概ネ肉付良好而モ體表面滑ニシテ特ニ胴腹充實セルモ背腰ノ弛緩セルモノ、後軀不良ノモノ及稍大貫ニ失スルモノアリ、兵庫縣ノ出品ハ一般ニ品位ニ富ミ皮毛良質ニシテ肥育ノ技術ニ巧ナルハ賞讚ニ値スト雖中ニ肥臍未熟ナルモノ、後軀ノ肉付不良ナルモノ、長脚ナルモノアリ、三重縣ノ出品ハ概シテ齊一シ體重・體尺共ニ適當ナルモノ多ク又屠殺牛ニ於テハ肉質ノ佳良ナルヲ認ムト雖之ヲ斯業ノ先進地トシテ考フルトキハ拔群優秀ナルモノニ乏シク且又肥臍ノ技術上只管目前ノ

利害ニ捉ハレ之ガ鍊磨ニ懈怠セルノ感ナキニアラズ一層ノ發奮ヲ望マザルベカラズ尙胴詰リノモノ、背腰弛キモノ、後軀不良ナルモノヲ散見セリ。大阪府ノ出品ハ顯著ナル進境ヲ示シ形態・肥膾程度良ク齊一シ正ニ先進地ノ壘ヲ摩スルノ觀アリ然レドモ屠殺牛ニ付テ見ル時ハ肉質必ズシモ外觀ノ美ニ伴ハザルノ憾アリ又一般ニ體軀ノ均稱ニ缺グル所アリ材料牛ノ選擇ニ付一段ノ研究ヲ要ス。和歌山縣ノ出品ハ概シテ良ク肥膾シ技術向上ノ蹟尠カラザルヲ見ルモ外觀粗野ニシテ品位ニ乏シク又管理ノ周到ナラザルモノアルヲ認メタルヲ遺憾トス。京都府及奈良縣ノ出品ニハ未ダ其ノ目標トスルトコロヲ認メ難ク他地方ノ進況ニ伴ハザルノ憾多シ。

第三部 肉 豚

肉豚ノ出品ハ全テヨークシャー種系ニ屬シ牝二十七頭・閹三頭ナリ。前回ニ比シ體型・資質益向上整一ノ傾向ヲ示シ肥育ノ方法亦甚ダシク改善セラレ特ニ脂肪ノ性質ニ細心ノ注意ヲ拂ヒタルノ蹟顯著ニシテ出品中四頭ヲ屠殺シタル實績ニ徴スルモ此ノ事實ヲ確認シ得ベク又閹豚ノ出品ニ良ク好成績ヲ舉ゲタルハ推賞ニ値スベシ然レドモ中ニ依然トシテ大貫ニ過ギタルモノ、肥育甚ダシク未熟ナルモノ仕上ノ時期ヲ誤レルモノヲ散見セリ。兵庫縣ノ出品ハ概シテ資質良好又肥育ノ方法巧ニシテ其ノ程度適當ナルハ賞スベキモ形態稍不揃ナ

ルノ憾アリ。京都府ノ出品ハ良ク精選セラレ全面的ニ進歩ノ蹟著シキモノアリ一層材料豚ノ選擇ニ留意シ大成ヲ期スベシ。滋賀縣ノ出品ハ大イサ・體重何レモ適當ニシテ良ク揃ヒ脂肪ノ性質亦極メテ良好ナルモ體型整ハズ品位ニ乏シキノ嫌アリ。三重縣ノ出品ハ進境見ルベキモノアリト雖肥育期間長キニ失シ過肥ニ陥レルモノ及大貫ニ失シタルモノアリ。大阪府ノ出品ハ大小極メテ不揃ニシテ又軟脂ノモノ多カリシヲ遺憾トス。

第四部 種 鶏

種鶏ノ出品ハ單冠白色レグホーン種七十五點・名古屋種二十五點ニシテ一般ニ體格強健トナリ體積増加ノ傾向益顯著ニシテ品位亦甚ダシク向上進歩シ特ニ單冠白色レグホーン種ニアリテハ從來往々出品セラレタル屑物ヲ殆ド一掃シ得タルノ觀アルハ慶ブベシ然レドモ一堂ヲ壓スベキ拔群優秀ノモノナカリシハ近時世界的躍進ヲ示シツツアル本邦養鶏界ノ現狀ニ鑑ミルトキハ寂莫ノ感ニ堪ヘザル所ナリトス又雌鶏輕視ノ通弊ト雌雄配合ノ不合理ハ依然トシテ革マラズ而シテ單冠白色レグホーン種ニアリテハ尙體重ノ不足ト羽色ノ錆ハ最モ多ク現レタル缺點ニシテ又名古屋種ニ於ケル通有ノ缺點ハ長脚ニ失セルト羽毛ノ濃色ニ過ギタルト肉冠過大ナルトニアリ。和歌山縣ノ出品ハ單冠白色レグホーン種ニ優物アルモ名古屋種ニハ粗野ナルモノ多シ。京都府ノ

出品ハ中ニ優良ナルモノアルモ等差甚ダシク齊一ヲ缺グノ憾アリ又羽毛ニ異色ヲ呈セルモノ多シ
 滋賀縣ノ出品ハ名古屋種ニ於テ稍見ルベキモノアルモ單冠白色レグホーン種ニアリテハ體積ニ乏シク
 且脚ノ長キニ失スルモノ多シ 三重縣ノ出品ハ概シテ齊一セルモ傑出セルモノ尠シ 奈良縣ノ出
 品ハ羽裝ノ弛キモノ及管理ノ周到ヲ缺グモノ尠カラズ 大阪府ノ出品ハ體積ニ乏シク實用價值ヲ疑
 ハシムルモノ多シ 本會ハ前年ノ出品ハ各部共ニ概シテ前回ニ比シ其ノ進步ノ蹟極メテ顯著ナルヲ認メ得タリ然レドモ
 要之、本回ノ出品ハ各部共ニ概シテ前回ニ比シ其ノ進步ノ蹟極メテ顯著ナルヲ認メ得タリ然レドモ
 時代ハ益畜産ノ重要性ヲ認識シ畜産ハ愈經濟能率優秀ナル畜禽ノ増殖ヲ要求シツツアルヲ以テ今後一
 層之ガ向上改善ヲ促進スルヲ要ス

九 共進會一般ニ關スル批評

本會ハ昭和七年滋賀縣主催ノ下ニ大津市ニ於テ開催セラレタル第四回近畿二府五縣聯合畜産共進會
 二次ギ開設セラレタルモノニシテ其ノ内容前回ト同様ナリ 會場ハ市ノ中心ヨリ稍西ニ位セル歩兵第
 六十一聯隊練兵場ノ一部ヲ充テ地域潤ク且平坦ナルモ車馬ノ便宜シカラズ加フルニ畜舎・審査場等ノ
 構造設計ハ此ノ種施設ノ設備トシテ極メテ不適當不充分ナルノ嫌アリタルヲ遺憾トス
 會期中第一日ニ降雨アリタル外連日好天氣ニ惠マレ遠近當業者及一般人士ノ參觀者相當ニシテ殷賑

タリキ

共進會附帶事業トシテ會期中市内縣農事試驗場外一ヶ所ニ於テ大日本農會主催ニ係ル畜力利用實演
 宣傳會及競犁會、縣農事試驗場主催ノ全國改良農具實演會、和歌山縣立和歌山高等女學校ニ於テ糧友
 會主催ノ緬羊豚肉料理講習會アリ又和歌山市和歌山高等小學校ニ於テ中央畜産會及養鶏組合中央會主
 催ノ畜産及家畜保險宣傳活動寫真映寫會、和歌山市公會堂ニ於テ南滿洲鐵道株式會社主催ノ滿蒙事情
 活動寫真映寫會等アリタル外共進會々場ニ於テ糧友會主催ノ緬羊豚肉普及即賣店、中央畜産會ノ家畜
 保險宣傳劇、和歌山觀光協會ノ觀光ト土産品館開設等アリテ何レモ熱心ナル大衆ノ支持ヲ得畜産業ノ
 普及宣傳上其ノ及ボシタル効果多大ナリシヲ認メタリ

副賞トシテ中央畜産會ヨリ出品家畜・禽ノ一等ヨリ三等迄ノ入賞者ニ對シ賞狀及賞章ヲ、養鶏組合
 中央會ヨリ一等ヨリ三等十五席迄ノ種鶏入賞者ニ對シ賞狀及賞典ノ贈與アリタル外日本畜産研究會ヨ
 リ種牛入賞者中乳用牛ノ首席ニ、日本配合飼料株式會社ヨリ肉牛及種鶏ノ一等入賞者ニ夫々賞旗ノ贈
 興アリタリ

十 擬賞概表

出品種別	出 品 種 別	擬賞等級				計	出品人員ニ對スル擬賞歩合
		一 等	二 等	三 等	四 等		
種肉肉種	牛牛	二	二	二	二	三	五〇七
種肉肉種	豚	一	二	一	一	四	四九〇
種肉肉種	鶏	七	一	一	一	一〇	四八三
計		一〇	五	四	四	二〇	五〇〇
		二四	一〇〇	二九	四七	一三三	四九八

之ヲ出品種別・府縣別ニ表示スレバ左ノ如シ

第一部 種牛

出品府縣	出 品 府 縣	擬賞等級				計	出品人員ニ對スル擬賞歩合
		一 等	二 等	三 等	四 等		
滋三	重賀	一	一	二	二	六	五五
		二	一	二	二	五	四五
		二	一	二	二	六	四五

第二部 肉牛

出品府縣	出 品 府 縣	擬賞等級				計	出品人員ニ對スル擬賞歩合
		一 等	二 等	三 等	四 等		
和奈兵大京滋三	歌	一	一	一	一	四	五三
		二	二	二	二	八	五七
		三	三	三	三	一二	四三
		四	四	四	四	一六	五〇
		五	五	五	五	二〇	六〇
		六	六	六	六	二五	五〇
		七	七	七	七	三一	四三
		八	八	八	八	三八	五〇
		九	九	九	九	四四	五〇
		一〇	一〇	一〇	一〇	五一	五〇
		一一	一一	一一	一一	五七	五〇
		一二	一二	一二	一二	六三	五〇
		一三	一三	一三	一三	七〇	五〇
		一四	一四	一四	一四	七八	五〇
		一五	一五	一五	一五	八六	五〇
		一六	一六	一六	一六	九五	五〇
		一七	一七	一七	一七	一〇四	五〇
		一八	一八	一八	一八	一一三	五〇
		一九	一九	一九	一九	一二二	五〇
		二〇	二〇	二〇	二〇	一三二	五〇
		二一	二一	二一	二一	一四一	五〇
		二二	二二	二二	二二	一五〇	五〇
		二三	二三	二三	二三	一五九	五〇
		二四	二四	二四	二四	一六八	五〇
		二五	二五	二五	二五	一七七	五〇
		二六	二六	二六	二六	一八六	五〇
		二七	二七	二七	二七	一九五	五〇
		二八	二八	二八	二八	二〇四	五〇
		二九	二九	二九	二九	二一三	五〇
		三〇	三〇	三〇	三〇	二二二	五〇
		三一	三一	三一	三一	二三一	五〇
		三二	三二	三二	三二	二四〇	五〇
		三三	三三	三三	三三	二四九	五〇
		三四	三四	三四	三四	二五八	五〇
		三五	三五	三五	三五	二六七	五〇
		三六	三六	三六	三六	二七六	五〇
		三七	三七	三七	三七	二八五	五〇
		三八	三八	三八	三八	二九四	五〇
		三九	三九	三九	三九	三〇三	五〇
		四〇	四〇	四〇	四〇	三一二	五〇
		四一	四一	四一	四一	三二一	五〇
		四二	四二	四二	四二	三三〇	五〇
		四三	四三	四三	四三	三三九	五〇
		四四	四四	四四	四四	三四八	五〇
		四五	四五	四五	四五	三五七	五〇
		四六	四六	四六	四六	三六六	五〇
		四七	四七	四七	四七	三七五	五〇
		四八	四八	四八	四八	三八四	五〇
		四九	四九	四九	四九	三九三	五〇
		五〇	五〇	五〇	五〇	四〇二	五〇
		五一	五一	五一	五一	四一一	五〇
		五二	五二	五二	五二	四二〇	五〇
		五三	五三	五三	五三	四二九	五〇
		五四	五四	五四	五四	四三八	五〇
		五五	五五	五五	五五	四四七	五〇
		五六	五六	五六	五六	四五六	五〇
		五七	五七	五七	五七	四六五	五〇
		五八	五八	五八	五八	四七四	五〇
		五九	五九	五九	五九	四八三	五〇
		六〇	六〇	六〇	六〇	四九二	五〇
		六一	六一	六一	六一	五〇一	五〇
		六二	六二	六二	六二	五一〇	五〇
		六三	六三	六三	六三	五一九	五〇
		六四	六四	六四	六四	五二八	五〇
		六五	六五	六五	六五	五三七	五〇
		六六	六六	六六	六六	五四六	五〇
		六七	六七	六七	六七	五五五	五〇
		六八	六八	六八	六八	五六四	五〇
		六九	六九	六九	六九	五七三	五〇
		七〇	七〇	七〇	七〇	五八二	五〇
		七一	七一	七一	七一	五九一	五〇
		七二	七二	七二	七二	六〇〇	五〇
		七三	七三	七三	七三	六〇九	五〇
		七四	七四	七四	七四	六一八	五〇
		七五	七五	七五	七五	六二七	五〇
		七六	七六	七六	七六	六三六	五〇
		七七	七七	七七	七七	六四五	五〇
		七八	七八	七八	七八	六五四	五〇
		七九	七九	七九	七九	六六三	五〇
		八〇	八〇	八〇	八〇	六七二	五〇
		八一	八一	八一	八一	六八一	五〇
		八二	八二	八二	八二	六九〇	五〇
		八三	八三	八三	八三	六九九	五〇
		八四	八四	八四	八四	七〇八	五〇
		八五	八五	八五	八五	七一七	五〇
		八六	八六	八六	八六	七二六	五〇
		八七	八七	八七	八七	七三五	五〇
		八八	八八	八八	八八	七四四	五〇
		八九	八九	八九	八九	七五三	五〇
		九〇	九〇	九〇	九〇	七六二	五〇
		九一	九一	九一	九一	七七一	五〇
		九二	九二	九二	九二	七八〇	五〇
		九三	九三	九三	九三	七八九	五〇
		九四	九四	九四	九四	七九八	五〇
		九五	九五	九五	九五	八〇七	五〇
		九六	九六	九六	九六	八一六	五〇
		九七	九七	九七	九七	八二五	五〇
		九八	九八	九八	九八	八三四	五〇
		九九	九九	九九	九九	八四三	五〇
		一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	八五二	五〇

十一 擬賞明細表

第一部 種牛

一等賞金牌

賞金百貳拾圓

貳名

出品府縣		出 品	擬 賞 等 級	出品人員ニ對 スル擬賞歩合
和奈兵大京滋三	計歌			
山良庫阪都賀重		點數	人員	
		一 等	二 等	三 等
		四 等	計	
		五〇	八六	六九
		八	六	一三
		五〇	五三	六〇
		六〇	三〇	四五
		五三	五三	六五

第四部 種鶏

出品府縣		出 品	擬 賞 等 級	出品人員ニ對 スル擬賞歩合
和奈兵大京滋三	計歌			
山良庫阪都賀重		點數	人員	
		一 等	二 等	三 等
		四 等	計	
		一四	一一	一四
		二二	二二	二二
		二二	二二	二二
		一〇	〇	六七
		六七	二九	五〇
		六七	六七	四〇
		四〇	三三	四八
		四八	三三	四八

第三部 肉豚

計

四九

四九

二

四

一〇

八

二四

四九〇

種	類	性	名	號	生年月	毛色	住	出	品	所	氏	名
改良和種	ホルスタイン種	牝	ベッシー アグリス 河谷米ノ二	同	同	黒	三重縣河藝郡玉垣村 京都府與謝郡筒川村	瓜生包藏 谷口米治	瓜生包藏 谷口米治	瓜生包藏 谷口米治	瓜生包藏 谷口米治	瓜生包藏 谷口米治

二等賞銀牌 賞金六拾圓 四名

種	類	性	名	號	生年月	毛色	住	出	品	所	氏	名
改良和種	ホルスタイン種	牝	オウロラ マメド オウロラ マメド	同	同	黒	滋賀縣蒲生郡櫻川村 和歌山縣西牟婁郡岩田村 和歌山縣日高郡湯川村 京都府天田郡川合村	津田憲三 中山重作 阪本房吉 樋口勝右衛門	津田憲三 中山重作 阪本房吉 樋口勝右衛門	津田憲三 中山重作 阪本房吉 樋口勝右衛門	津田憲三 中山重作 阪本房吉 樋口勝右衛門	津田憲三 中山重作 阪本房吉 樋口勝右衛門

三等賞銅牌 賞金參拾圓 拾壹名

種	類	性	名	號	生年月	毛色	住	出	品	所	氏	名
改良和種	ホルスタイン種	牝	ジエマイマ サキエマ オウロラ マメド	同	同	白黒斑	滋賀縣甲賀郡大原村	奥村丑太郎 世古巳之助 川崎榮五郎 京都府天田郡 畜産組合 松嶋豊次 鹽見吉左衛門 丸山源七 上田梅松 川崎市松 西村常三郎	奥村丑太郎 世古巳之助 川崎榮五郎 京都府天田郡 畜産組合 松嶋豊次 鹽見吉左衛門 丸山源七 上田梅松 川崎市松 西村常三郎	奥村丑太郎 世古巳之助 川崎榮五郎 京都府天田郡 畜産組合 松嶋豊次 鹽見吉左衛門 丸山源七 上田梅松 川崎市松 西村常三郎	奥村丑太郎 世古巳之助 川崎榮五郎 京都府天田郡 畜産組合 松嶋豊次 鹽見吉左衛門 丸山源七 上田梅松 川崎市松 西村常三郎	

種	類	性	名	號	生年月	毛色	住	出	品	所	氏	名
改良和種	ホルスタイン種	牝	オウロラ マメド	同	同	黒	滋賀縣甲賀郡大原村	奥村丑太郎 世古巳之助 川崎榮五郎 京都府天田郡 畜産組合 松嶋豊次 鹽見吉左衛門 丸山源七 上田梅松 川崎市松 西村常三郎	奥村丑太郎 世古巳之助 川崎榮五郎 京都府天田郡 畜産組合 松嶋豊次 鹽見吉左衛門 丸山源七 上田梅松 川崎市松 西村常三郎	奥村丑太郎 世古巳之助 川崎榮五郎 京都府天田郡 畜産組合 松嶋豊次 鹽見吉左衛門 丸山源七 上田梅松 川崎市松 西村常三郎	奥村丑太郎 世古巳之助 川崎榮五郎 京都府天田郡 畜産組合 松嶋豊次 鹽見吉左衛門 丸山源七 上田梅松 川崎市松 西村常三郎	

四等賞褒狀 拾七名

種	類	性	名	號	生年月	毛色	住	出	品	所	氏	名
改良和種	ホルスタイン種	牝	オウロラ マメド	同	同	黒	三重縣河藝郡大里村 京都府京都市 京都府京都市	伊東定吉 阿部良太 渡邊捨吉	伊東定吉 阿部良太 渡邊捨吉	伊東定吉 阿部良太 渡邊捨吉	伊東定吉 阿部良太 渡邊捨吉	伊東定吉 阿部良太 渡邊捨吉

同	種	同	性 及羽數	同	生 年 月	住 出	所 品	氏 名
同	名	同	同	同	同	京都府竹野郡網野町	品川俊一郎	
同	古	同	同	同	同	和歌山縣新宮市	小川起世子	
同	屋	同	同	同	同	京都府熊野郡下佐濃村	中村仙四郎	
同	種	同	同	同	同	滋賀縣蒲生郡八幡町	織田與兵衛	
						三重縣度會郡四郷村	佐々木平左	

三等賞 銅牌

賞金拾圓

拾九名

同	種	同	性 及羽數	同	生 年 月	住 出	所 品	氏 名
同	單冠白色 レグ ホーン種	同	二羽番	同	昭和 九二	和歌山縣新宮市	西庄健	
同		同		同	九二	三重縣松阪市	森口肇	
同		同		同	九二	三重縣鈴鹿郡高津瀬村	江藤傳重郎	
同		同		同	九二	京都府熊野郡下佐濃村	中村かね	
同		同		同	九二	奈良縣生駒郡筒井村	矢尾勝	
同		同		同	九二	奈良縣生駒郡都跡村	吉村淺治郎	
同		同		同	九二	三重縣宇治山田市	宮本長七	
同		同		同	九二〇	三重縣阿山郡東柘植村	佐々木繁	

四等賞 褒狀

貳拾參名

同	種	同	性 及羽數	同	生 年 月	住 出	所 品	氏 名
同	單冠白色 レグ ホーン種	同	二羽番	同	昭和 九二	京都府熊野郡上佐濃村	奥田彦藏	
同		同		同	九二	大阪府泉北郡鳳町	深江繁三	
同		同		同	九二	奈良縣山邊郡二階堂村	長井要治郎	
同		同		同	九二	三重縣松阪市	森口伸吾	
同		同		同	九二	滋賀縣甲賀郡宮村	藤田傳次郎	
同		同		同	九二	奈良縣磯城郡平野村	細井伊右衛門	
同		同		同	九二	大阪府泉北郡福泉町	北井寛	
同		同		同	九二	京都府熊野郡川上村	土出正	
同		同		同	九二	京都府船井郡園部町	村田與兵衛	
同		同		同	九二	滋賀縣犬上郡彦根町	杉本源松	
同		同		同	九二	和歌山縣新宮市	瀧谷源太	

第二 審査官復命

第一部 種牛

主任 審査官 畜産試験場技師 羽部 義孝
 同 農林技師 田口 教一

種牛ノ出品ハ總頭數六十九頭内乳用種三十頭役肉用種三十九頭ニシテ出品人員六十七名ナリ 之ヲ
 府縣別・種類別・性別ニ表示シ更ニ前回ト對比スレバ左ノ如シ(括弧内ハ前回ノ成績ヲ示ス)

府縣別	種類別		計	府縣別	種類別		計	合計
	性別	種類			性別	種類		
三 重	牝	改良和種	11	滋 賀	牝	改良和種	10	合計
	牝	改良和種	33		牝	改良和種	33	
	計	改良和種	44		計	改良和種	43	
京 都	牝	ホルスタイン種	11	和 歌 山	牝	ホルスタイン種	11	合計
	牝	ホルスタイン種	8		牝	ホルスタイン種	8	
	計	ホルスタイン種	19		計	ホルスタイン種	19	
計	牝	改良和種	11	計	牝	改良和種	11	合計
	牝	改良和種	33		牝	改良和種	33	
	計	改良和種	44		計	改良和種	43	

府縣別	種類別		計	府縣別	種類別		計	合計
	性別	種類			性別	種類		
大 阪	牝	改良和種	11	兵 庫	牝	改良和種	11	合計
	牝	改良和種	33		牝	改良和種	33	
	計	改良和種	44		計	改良和種	44	
奈 良	牝	改良和種	11	和 歌 山	牝	改良和種	11	合計
	牝	改良和種	33		牝	改良和種	33	
	計	改良和種	44		計	改良和種	44	
計	牝	改良和種	11	計	牝	改良和種	11	合計
	牝	改良和種	33		牝	改良和種	33	
	計	改良和種	44		計	改良和種	44	

次ニ出品牛ニ關スル概評ヲ述ブベシ

一、乳用種

乳用種ニ屬スルモノハ牝二頭・牝二十八頭・計三十頭ニシテ内僅ニ二頭ノ未登録牛ヲ除ク外ハ悉ク登録セラレタルホルスタイン純粹種ニシテ前回ニ比シ一層登録普及ノ傾向ヲ示セルハ推賞ニ値ス 出品牛ハ一般ニ形態佳良ニシテ向上進歩ノ蹟ヲ認ムト雖本邦乳牛界ノ現況殊ニ本共進會參加地方ニ於テハ京阪神等ノ牛乳大消費地ヲ有スルノ實情ニ鑑ミル時ハ出品牛ノ資質・能力ニ於テ聊カ寂莫ノ感ナキ能ハズ即チ一般ニ體積不充分ニシテ雄大ナラズ幼時ニ於ケル育成法ノ失宜ニ依リテ發育ヲ阻害シ壯齡ニシテ早老ノ觀ヲ呈シ乳徵ニ乏シク特ニ前乳房ノ發育不良ナリ 其ノ他背腰不良殊ニ腰部纖弱ナルモ

ノ、肋張り不十分ナルモノ、體幅特ニ後軀ノ幅ニ乏シキモノ、後軀詰リテ傾斜セルモノ、肢蹄ノ管理不良ニシテ後肢ノ狀ヲ呈シ步履不確實ナルモノ等アリ 將來幼時ニ於ケル育成方法並飼養管理ニ一層留意スルト共ニ優良血統ノ利用ニ努メ農家飼牛經濟ノ改善ヲ圖ルコト肝要ナリ

三重縣ノ出品ハ牝一頭・牝四頭・計五頭ニシテ一、二相當ノモノヲ認ムルト雖概シテ皮膚粗硬ニシテ品位ヲ缺ク

滋賀縣ノ出品ハ牝八頭ニシテ比較的優良ナルモノ一般ニ體積不十分ニシテ乳徴ニ乏シキヲ遺憾トス

京都府ノ出品ハ牝五頭ニシテ體積ニ富ミ體軀均稱ヲ得タルモノアルモ品位ニ乏シク乳器不良ナリ

大阪府ノ出品ハ牝一頭・牝四頭・計五頭ニシテ前回ニ比シ血統向上セルノ傾向ヲ認ムルモ概シテ不揃ニシテ育成及飼養管理ノ失宜ニ依ル缺點多シ

奈良縣ノ出品ハ牝四頭ニシテ體積不足シ乳徴ニ乏シ

和歌山縣ノ出品ハ牝三頭ニシテ概ネ體軀弛緩シ乳器宜シカラズ

二、役 肉 用 種

役肉用種ニ屬スルモノハ孰レモ改良和種ニシテ牝一頭・牝三十八頭・計三十九頭ナリ 出品牛ハ一般ニ體型・資質・毛色共ニ改良整一セラレ前回ニ比シ一段ノ向上進歩ヲ示シ出品府縣ノ間ニ於ケル優劣ノ等差漸次僅少ナルヲ認ムルハ欣快トスル所ナリ又從來ニ比シ蕃殖適齡ニ於テ能ク交配セルハ種牛ノ利

用上賞スベシト雖猶各個體ニ就テ詳査スルニ外貌粗野ニシテ品位ニ乏シキモノ、過肥ニ陥リテ體軀弛緩セルモノ、乳器ノ發育不十分特ニ乳頭ノ形質不良ナルモノ、肢勢不良ニシテ歩様不確實ナルモノ等アルヲ遺憾トス 將來優良血統ノ保持利用ト合理的飼養管理トニ依リテ役肉用牛ノ利用價値ヲ益向上セシムルコトヲ要ス

三重縣ノ出品ハ牝六頭ニシテ二歳牛多ク概シテ側望宜シキモ體幅不足シ歩様不良ナリ

滋賀縣ノ出品ハ牝三頭ニシテ皮膚柔軟被毛モ亦嗜好ニ適スルモノ多キモ概シテ體積ニ乏シク過肥ニ陥レルモノアリ

京都府ノ出品ハ牝一頭・牝九頭・計十頭ニシテ殊ニ牝ニ於テハ體型整備シ資質亦不可ナラザルモ概シテ體積ニ乏シク又過肥ニ陥レルモノ、後軀ノ狀態不良ナルモノ、肢蹄ノ管理宜シカラザルモノ等アリ 大阪府ノ出品ハ牝三頭ニシテ一般ニ過肥ニ陥リ體軀弛緩シ肢勢不良ノモノ多シ

奈良縣ノ出品ハ牝四頭ニシテ體軀矮小・外貌粗野ニシテ品位ヲ缺キ乳器ノ發育亦不十分ナリ 和歌山縣ノ出品ハ牝十三頭ニシテ概ネ體積ニ富ミ體軀均稱ヲ得テ優劣ノ差尠ナキモ過肥ニ陥レルモノ、肢蹄軟弱ナルモノ、背腰ノ狀態宜シカラザルモノ、被毛粗硬ナルモノ等アルヲ遺憾トス

審査ノ結果一等賞二點・二等賞四點・三等賞十一點・四等賞十七點ヲ選拔擬賞セリ 擬賞概表左ノ如シ(括弧内ハ前回ノ成績ヲ示ス)

出品府縣	出品番號	出品年齡(月)	體高	十字部高	胸圍	胸深	胸幅	管圍	腰角幅	腕幅	坐骨幅	體長	尻長	備考	出品人員ニ對スル擬賞歩合
三 重	一六	四〇	一三八・八	一四〇・〇	一八〇・〇	七〇・〇	四七・五	一八〇・〇	四七・〇	五七・〇	四一・〇	一六三・〇	五〇・〇	四等賞	五・五
滋 賀	二〇	三九	一三九・〇	一四一・八	一八二・五	七〇・〇	四三・〇	一八〇・〇	四九・〇	五〇・〇	三五・〇	一五九・〇	五二・五	一等賞一席	五・〇
京 都	一八	三〇	一四〇・〇	一四三・三	一八七・五	七〇・〇	四三・五	一七五・〇	四九・〇	五〇・〇	三三・〇	一六二・四	五二・五	同	五・〇
大 阪	一七	三三	一三五・〇	一三六・七	一九四・〇	七〇・〇	四七・五	二〇・四	四七・〇	五三・〇	三五・〇	一六三・六	五〇・〇	四等賞	五・〇
兵 庫	一七	三三	一三五・〇	一三六・七	一九四・〇	七〇・〇	四七・五	二〇・四	四七・〇	五三・〇	三五・〇	一六三・六	五〇・〇	四等賞	五・〇
奈 良	一七	三三	一三五・〇	一三六・七	一九四・〇	七〇・〇	四七・五	二〇・四	四七・〇	五三・〇	三五・〇	一六三・六	五〇・〇	四等賞	五・〇
和 歌 山	一七	三三	一三五・〇	一三六・七	一九四・〇	七〇・〇	四七・五	二〇・四	四七・〇	五三・〇	三五・〇	一六三・六	五〇・〇	四等賞	五・〇
計															五・〇七

附 出品牛測尺表
ホルスタイン種 牝

出品府縣	出品番號	出品年齡(月)	體高	十字部高	胸圍	胸深	胸幅	管圍	腰角幅	腕幅	坐骨幅	體長	尻長	備考
三 重	一六	四〇	一三八・八	一四〇・〇	一八〇・〇	七〇・〇	四七・五	一八〇・〇	四七・〇	五七・〇	四一・〇	一六三・〇	五〇・〇	四等賞
滋 賀	二〇	三九	一三九・〇	一四一・八	一八二・五	七〇・〇	四三・〇	一八〇・〇	四九・〇	五〇・〇	三五・〇	一五九・〇	五二・五	一等賞一席
京 都	一八	三〇	一四〇・〇	一四三・三	一八七・五	七〇・〇	四三・五	一七五・〇	四九・〇	五〇・〇	三三・〇	一六二・四	五二・五	同
大 阪	一七	三三	一三五・〇	一三六・七	一九四・〇	七〇・〇	四七・五	二〇・四	四七・〇	五三・〇	三五・〇	一六三・六	五〇・〇	四等賞

出品府縣	出品番號	出品年齡(月)	體高	十字部高	胸圍	胸深	胸幅	管圍	腰角幅	腕幅	坐骨幅	體長	尻長	備考
三 重	一六	四〇	一三八・八	一四〇・〇	一八〇・〇	七〇・〇	四七・五	一八〇・〇	四七・〇	五七・〇	四一・〇	一六三・〇	五〇・〇	四等賞
滋 賀	二〇	三九	一三九・〇	一四一・八	一八二・五	七〇・〇	四三・〇	一八〇・〇	四九・〇	五〇・〇	三五・〇	一五九・〇	五二・五	一等賞一席
京 都	一八	三〇	一四〇・〇	一四三・三	一八七・五	七〇・〇	四三・五	一七五・〇	四九・〇	五〇・〇	三三・〇	一六二・四	五二・五	同
大 阪	一七	三三	一三五・〇	一三六・七	一九四・〇	七〇・〇	四七・五	二〇・四	四七・〇	五三・〇	三五・〇	一六三・六	五〇・〇	四等賞

十點ヲ最多トシ之ヲ種類別・性別ニ示セバ左表ノ如シ（括弧内ハ前回ノ成績ヲ示ス）

府縣別	種類別	
	改	良
三		
滋		
京		
大		
兵		
奈		
和		
計		
重		
賀		
都		
阪		
庫		
良		
山		
歌		
計		

審査ハ一般審査ニ亞デ個體審査及比較審査ヲ反覆施行シ且出品中優良ト認メタルモノ六頭ヲ屠殺解

體シ屠肉體ノ外觀・生體量ニ對スル屠肉量ノ割合・肉發育ノ狀態・肉質ヲ比較精査シタル上一等賞二點・二等賞四點・三等賞十點・四等賞八點計二十四點ヲ選抜擬賞セリ其ノ詳細ハ左表ニ示スガ如シ（括弧内ハ前回ノ成績ヲ示ス）

擬賞概表

出品府縣	出品		擬賞等級	出品人員ニ對スル擬賞歩合
	點數	人員		
三	二〇	二〇	一	五〇
滋	一〇	一〇	一	五〇
京	五	五	一	五〇
大	四	四	一	五〇
兵	〇	〇	一	五〇
奈	三	三	一	五〇
和	三	三	一	五〇
計	三	三	一	三三
重	二〇	二〇	一	五〇
賀	一〇	一〇	一	五〇
都	五	五	一	五〇
阪	四	四	一	五〇
庫	〇	〇	一	五〇
良	三	三	一	三三
山	三	三	一	三三
歌	三	三	一	三三
計	三	三	一	三三

和歌山	(五七)	(五七)	(三二)	(一四)	(二二)	(三三)	(四三)
計	(五〇)	(五〇)	(三二)	(四四)	(二〇)	(三五)	(五〇)

四〇

今出品肉牛ニ付批評スレバ其ノ資質概ネ精選セラレ體型略整一シ肥膈ノ状態良好ノモノ多ク又從來ノ後進地ノ出品ニ顯著ナル進歩ヲ觀ル等前回ニ比シテ斯業進展ノ蹟著シキモノアルヲ認ム 而シテ屠體審査ノ成績ニ徴スルニ肉質竝肉付ノ状態共ニ佳良ニシテ生體量ニ對スル屠肉歩留平均六割七分強ノ高率ヲ示シタルハ肥膈ニ關スル研鑽努力ヲ必實ニ示スモノニシテ稱讚ニ値ス然リト雖肥膈過多ノ憾アルモノ、肉竝脂肪ノ色澤良シカラザルモノ、筋纖維束ノ稍粗大ナルモノ等アリ又外觀精査ニ於テ未ダ肥膈不十分ナルモノ、脂肪沈著ノ状態良好ナラザルモノ、大貫ナルモノ、粗野ニシテ品位ニ乏シキモノ、體ノ過大ナルモノ、體長ノ伸暢宜シカラザルモノ、後軀肉付ノ状態不良ナルモノ、背腰部ニ缺陷アルモノ、長脚ノモノ及牛體ノ手入不十分ニシテ平素ノ飼養管理ニ熱意ヲ缺クヲ思ハシムルモノ等アルハ遺憾トス 將來肥育供用牛ノ選擇ニハ本邦産牛ノ改良方針ト肉牛市場ノ要求ヲ照合シテ更ニ一段ノ考究ヲ重ヌルト共ニ其ノ飼養管理ニ付一層ノ工夫ヲ凝シ以テ益畜牛肥育經濟ノ向上ヲ圖ラザルベカラズ

滋賀縣ノ出品ハ概ネ型質良好肥膈ノ状態亦佳良而モ體表面滑ニシテ胸腹充實スル等關係者辛苦ノ蹟ヲ窺ヒ得テ甚ダ意ヲ強クスル所ナリト雖中ニハ肉竝脂肪ノ色澤好マシカラザルモノ、肥膈ノ程度未熟ナルモノ、背腰部ニ凹陷アルモノ、後軀不良ノモノ等アリ

兵庫縣ノ出品ハ一般ニ品位ニ富ミ資質體型略齊一シ肥育方法ニ巧ナルハ薦獎ニ値スト雖中ニハ肥育未熟ノモノ、後軀肉付ノ不良ナルモノ、長脚ノモノ等アリ

三重縣ノ出品ハ概シテ豐圓肥滿ノ状態ヲ呈シ而モ大貫ノ物ヲ避クルニ努メタルヲ窺ヒ得タル等前回ニ比シテ肥膈技術ニ一段ノ進歩ヲ示シタルハ偉トスベキモ尙肉ノ色淡キニ失スルモノアリ又肥育ノ程度充分ナラザルモノ、外觀粗野ナルモノ、體ノ伸暢宜シカラザルモノ、背腰部ニ缺陷アルモノ、後軀不良ノモノアリ特ニ拔群優秀ノモノニ乏シキハ斯業ノ先進地ノ出品トシテ些カ寂寞ノ感ナクムバアラズ

大阪府ノ出品ハ僅ニ四頭ニシテ全班ヲ窺ヒ難キ憾アルモ肥膈ノ程度概ネ良好且齊一シ前回ニ比シテ格段ノ進境ヲ示シ特ニ肥膈技術ノ向上顯著ナルモノアルハ喜ブベシト雖體各部ノ均稱宜シカラザルモノ、後軀ノ肉付不良ナルモノ、肥膈ノ程度十分ナラザルモノ等アリ

和歌山縣ノ出品ハ概シテ良ク肥膈充實シ前回ニ比シテ肥膈技術ノ進歩著シキモノアルハ賞スベキモ一般ニ外觀粗野ニシテ品位ニ乏シク又型質不揃ノ觀アリ且平素ノ管理ニ意ヲ注グコト充分ナラザルヲ

膀胱	生殖	脂肪	腸	胃	脾	膽囊及膽汁	肝臟	肺臟	心臟	及食道氣管	舌咽	尾
無內容	有內容	腸間膜	大網膜	無內容	有內容	無內容	有內容	無內容	有內容	無內容	有內容	無內容
0.15	0.83	2.25	1.57	1.05	3.25	1.58	3.25	0.83	5.60	2.25	1.90	1.00
0.15	0.83	3.50	1.70	0.75	1.68	5.00	1.11	5.50	2.25	2.80	1.30	1.40
0.20	1.43	2.60	1.53	1.30	2.00	2.70	0.94	7.00	2.00	2.00	1.70	1.40
0.20	1.13	3.27	1.33	1.10	1.54	4.25	1.10	6.00	2.25	2.00	1.70	1.00
0.33	0.94	3.00	1.50	1.07	1.76	4.00	1.65	6.00	2.89	2.25	2.00	1.50
0.33	2.00	2.08	0.87	0.87	1.60	4.00	1.20	7.00	2.60	2.90	2.00	1.50
0.33	0.20	4.00	2.90	1.90	2.20	6.20	0.20	1.00	0.40	0.40	0.30	0.30
0.33	0.20	6.30	3.10	1.40	2.10	9.20	0.20	1.00	0.40	0.40	0.30	0.30
0.50	0.20	4.20	2.50	2.20	3.30	8.30	0.20	1.10	0.30	0.40	0.30	0.30
0.33	0.20	5.40	2.30	1.90	2.00	7.20	0.20	1.10	0.40	0.40	0.30	0.30
0.40	0.20	5.00	2.50	1.80	2.20	7.50	0.40	1.00	0.50	0.40	0.30	0.30
0.40	0.20	3.40	1.40	1.40	2.50	7.30	0.20	1.20	0.40	0.50	0.40	0.30

備考

一、枝肉量中ニハ縱横隔膜ヲ含ム

- 一、友ハ腎臟及腎臟脂肪ヲ含ム
- 一、生體量ハ屠場ニ於テ屠殺前測定ス
- 一、肩ト友トハ第十肋骨・第十一肋骨トノ間ニテ切斷セリ
- 一、百分率ノ算出ニハ小數點以下第二位迄求メ第二位ヲバ四捨五入セリ但シ膀胱無內容ハ小數點以下第三位迄求メ第三位ヲバ四捨五入セリ

出品肉牛解體表 (其ノ二)

名	重量及%	出品番號	枝肉量ニ對スル各部重量百分率										
			二七	一八	四一	三六	一一	三	二七	一八	四一	三六	一一
右	九七・〇〇	九三・四〇	107・00	101・00	104・00	115・80	26・5	26・2	26・1	25・7	26・0	25・3	
左	九六・二〇	九六・〇〇	111・70	107・60	109・10	110・90	26・8	27・0	27・2	26・8	27・3	26・6	
右	八四・二〇	八二・〇〇	95・90	97・40	92・40	99・40	23・0	23・0	23・4	24・3	23・1	23・8	
左	八六・九〇	八四・70	95・40	92・90	94・10	101・30	23・7	23・8	23・3	23・2	23・5	24・3	
枝肉量	363・30	353・30	410・00	400・90	394・60	477・40	100・0%	100・0%	100・0%	100・0%	100・0%	100・0%	100・0%

附 第一回 第二回 第三回 第四回 第五回 近畿二府五縣聯合畜産共進會出品肉牛ニ關スル調査表

名稱	體			胸			臆					
	高	圍	幅	高	圍	幅	高	圍	幅			
區分	第一回	四・五六	四・〇五	四・三三	七・七六	六・二二	七・二〇	(二六四・四)	一・七八	一・三六	一・五三	(三五・四)
	第二回	四・五七	四・〇一	四・三〇	七・六三	六・七八	七・二三	(二六七・九)	一・七〇	一・三〇	一・五四	(三五・八)
	第三回	四・五九	四・一〇	四・三三	七・九九	六・〇〇	七・一七	(二六五・六)	一・八五	一・四五	一・六四	(三七・九)
	第四回	四・四〇	四・〇五	四・二三	七・四九	五・九七	六・八九	(二六二・八)	一・六五	一・三五	一・四九	(三五・三)
	第五回	四・四三	四・一一	四・二四	七・四七	六・五五	六・九二	(二六三・三)	一・五八	一・三〇	一・四三	(三三・七)

備考 括弧内ノ數字ハ體高ニ對スル其ノ百分率ヲ示ス

第三部 肉 豚

主任 審査官 畜産試験場技師 中原重樹
同 農林技師 三宅三郎

管圍	生體量			屠肉歩合		
	最	最	最	最	最	最
最	一・九〇	一・七〇	一・五〇	〇・七〇	〇・五三	〇・五〇
均	一・九二	一・七二	一・五二	〇・六五	〇・五一	〇・五二
低	一・九三	一・七三	一・五三	〇・六二	〇・五五	〇・五二
高	一・九四	一・七四	一・五四	〇・六三	〇・五八	〇・五三
最	一・九六	一・七六	一・五六	〇・六二	〇・五五	〇・五二
均	一・九七	一・七七	一・五七	〇・六二	〇・五五	〇・五二
低	一・九八	一・七八	一・五八	〇・六二	〇・五五	〇・五二
高	一九・〇〇〇	一七・〇〇〇	一五・〇〇〇	〇・六二	〇・五五	〇・五二
最	一・九八	一・七八	一・五八	〇・六二	〇・五五	〇・五二
均	一九・〇〇〇	一七・〇〇〇	一五・〇〇〇	〇・六二	〇・五五	〇・五二
低	一九・〇〇〇	一七・〇〇〇	一五・〇〇〇	〇・六二	〇・五五	〇・五二
高	一九・〇〇〇	一七・〇〇〇	一五・〇〇〇	〇・六二	〇・五五	〇・五二

第三部肉豚ノ出品ハ凡テヨークシャー種ニシテ牝二十七頭・閹三頭・計三十頭、出品人員二十九名ナ

右審査ノ總評ヲ試ムレバ 前回ニ比シ資質概ネ整一シ肥育方法著シク經濟的ニ考慮改善セラレ特ニ脂肪ノ資質一般ニ良好ニシテ軟脂ノモノ少ク又鬮豚ヲ巧ニ肥育シ良好ナル結果ヲ得タルモノヲ見タルハ推賞ニ値ス 然レドモ材料豚ノ選擇ニ一層留意ヲ要スルモノ、或ハ仕上時期ヲ誤レルモノ、依然トシテ大貫ニ過ギ又ハ殆ド肥育セラレザルモノ等アリタルハ遺憾トス之ヲ各府縣別ニ觀ルニ大阪府ノ出品ハ大小不整ニシテ之ヲ生體量ニ見ルモ最高一三〇^近一三・最低九二^近七八ヲ示シ又軟脂ノモノ多ク、前回ニ比シ進歩ノ跡ヲ認メ難キヲ遺憾トス宜シク材料豚ノ選擇ニ留意スルト共ニ肥育方法ノ改善ヲ圖リ以テ肉豚ノ商品價値ヲ向上セシムルノ要アルベシ

奈良縣ノ出品ハ二頭ニ過ギズ然モ同一人ノ出品ナルヲ以テ詳細批判シ難キモ鬮豚ニアリテハ巧ニ肥育ヲ行ヒ肉用價値ノ向上ヲ圖レルハ賞スルニ足ルベシ

兵庫縣ノ出品ハ前回ニ比シ經濟的ニ肥育ヲ行ヒ且飼養管理ニ留意シタル點ハ推賞ニ値スベキモ資質品位ニ於テ稍區々ノ感アリ猶一段ノ改善ヲ要スベキモノト認ム

京都府ハ鬮一頭・牝三頭ヲ出品シ前回ニ比シ出品良ク精撰セラレ全面的ニ進歩ノ跡顯著ナルモノアルモ體型稍弛緩セルモノアリタルハ遺憾ニシテ材料豚ノ選擇ニ留意スルト共ニ一層肥育技術ノ大成ニ努ムルノ要アリ

三重縣ノ出品ハ前回ニ比シ進境見ルベキモノアリト雖肥育期間稍長キニ失シ過肥ナルモノ、大貫ニ

過グルモノアリ、形質不同ナルヲ以テ今後一層經濟的肥育ニ留意シ仕上時期ノ適正ヲ期スルノ要アルベシ

滋賀縣ノ出品三頭ハ良ク揃ヒ資質ニアリテモ特ニ脂肪堅ク優良ニシテ前回ニ比シ進境著シキモノアルモ體型不整品位ニ乏シキ嫌アリ

和歌山縣ノ出品三頭中二頭ハ發育不充分肥育亦未熟ニシテ肉豚ト看做スヲ得ザル状態ニシテ他ノ一頭ハ相當肥育ハ進メルモ飼養管理著シク粗惡ナリ 肉豚ノ飼育ニ關シ全般的ニ一層ノ研鑽努力ヲ要スベシ

附 出品肉豚解體表

名稱	重量及%		生體量ニ對スル各部重量百分率				
	重量	%	一五	一八	二一	二五	
生體量	九五・二五〇	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	
枝	七三・五七六	77.25%	77.38%	78.10%	73.57%	73.57%	
肉	三七・〇八八	39.075%	38.94%	38.77%	38.77%	36.16%	
半	三六・四八八	38.550%	39.675%	37.950%	39.33%	37.41%	
左	〇・二四四	0.256%	0.26%	0.27%	0.27%	0.27%	
右	〇・二四四	0.256%	0.26%	0.27%	0.27%	0.27%	
腎	〇・二四四	0.256%	0.26%	0.27%	0.27%	0.27%	

屠體ノ外觀稍前二者ニ比シ見劣リアリト雖其ノ肉質脂肪ノ佳良ナルコト從來同縣出品豚ニ其ノ比ヲ見
 ズ之肉豚ノ飼育並肥臘技術ニ相當ノ研鑽工夫ヲ行ヘル結果ナルベク其ノ努力ヲ窺フニ足ル 三重縣出
 品第二十一號ハ材料豚ノ資質宜シク屠肉量ノ歩留ハ七八%一〇ニ達スルモ屠肉體ノ外觀明ニ脂肪過多
 ノ狀ヲ呈シ肉質及脂肪ノ實質ハ佳ナルモ肉豚トシテ其肥育長期ニ失シタリ

第四部 種 鶏

主任 審査官 種鶏場技師 大 島 德 重
 同 同 伊 藤 帷 吉

本會ニ於ケル出品ハ點數百點、其ノ出品人員百名ニシテ單冠白色レグホーン種七十五點・名古屋種
 二十五點ナリトス 之ヲ府縣別・種類別ニ表示スレバ左ノ如シ(括弧内ハ前回ノ成績ヲ示ス)

府縣別	種類別	
	單冠白色種	名古屋種
滋賀	(一〇)	(四五)
三 重	(一五)	(七五)
計	(二五)	(一二〇)

右出品ニ付審査ノ結果一等賞二點・二等賞六點・三等賞十九點・四等賞二十三點ヲ選抜擬賞セリ 之
 ヲ府縣別ニ表示スレバ左ノ如シ(括弧内ハ前回ノ成績ヲ示ス)

出品府縣	出品				出品人員ニ對スル擬賞歩合
	點數	人員	擬賞	級	
三 重	(三〇)	(三〇)	(一)	(四一)	(一三)
計	(三〇)	(三〇)	(一)	(四一)	(一三)
					(六・五)

第一 審査長復命

審査長 農林技師

横

屋

潤

一 會 期

自昭和十年十月十二日
至昭和十年十月十七日

六 日 間

二 會場ノ所在地

福岡市平尾

三 出品ノ區域

福岡縣、佐賀縣、長崎縣、熊本縣、大分縣、宮崎縣、鹿兒島縣

四 出品ノ種類

第一部	種	牛
第二部	種	馬
第三部	役	馬
第四部	種	緬羊
第五部	種	豚

- 第六部 種 雞
- 第七部 畜産製造品
- 第八部 畜産ニ關係アル農具及器具機械
- 第九部 參考品

五 出品點數及出品人員 (第九部出品ヲ除ク)

出品點數 四百三十四點
出品人員 四百二十人

之ヲ出品種類別・縣別ニスレバ左ノ如シ

出品種類別	縣別	
	福 岡	佐 賀
種 牛	一五	一三
種 馬	二二	一五
種 羊	一〇	八
種 豚	一〇	八
計	五〇	四〇
畜産製造品	一〇〇	一〇〇
畜産ニ關係アル農具及器具機械	一〇〇	一〇〇
計	四三〇	四三〇

六 擬賞點數及擬賞人員

擬賞點數 二百十點
擬賞人員 二百十人

之ヲ出品種類・縣別ニスレバ左ノ如シ

出品種類別	縣別	
	福 岡	佐 賀
種 牛	一八	一八
種 馬	一八	一八
種 羊	一八	一八
計	五〇	五〇
畜産製造品	一〇〇	一〇〇
畜産ニ關係アル農具及器具機械	一〇〇	一〇〇
計	二〇〇	二〇〇

種 羊	種 豚	種 鶏	畜 産 品	製 造 品	畜 産 二 關 係	農 具 及 機 械	計
二	五	一六	三	二七	六七		
三	一〇	二〇	六	一一	七八		
二	一四	一五	六	一	五七		
三	八	一三	二	一	五一		
六	四	八	六	一	四九		
四	五	八	六	一	五〇		
一	三	一四	三	七	六六		
一	三	一四	三	六	六八		
一	四	一七	二	一	五〇		
一	四	一六	二	一	五四		
五	七	一五	七	二	五九		
六	七	一五	五	二	六三		
四	一三	一五	五	四	六九		
四	一三	一五	五	二	七〇		
三〇	五〇	一〇〇	三〇	四三	四二七		
三〇	五〇	一〇〇	三〇	二四	四三四		

左ニ各部出品ニ關スル講評ヲ記述ス

第一部 種 牛

種牛ノ出品ハ改良和種牝五十六頭・牡三十四頭・計九十頭、**ホルスタイン**種牝七頭・牡三頭・計十頭總計百頭ナリ

改良和種ハ一般ニ前回ニ比シ改良進歩ノ跡顯著ニシテ各縣夫々整一シ來レル傾アルハ喜ブベキモ尙各縣ノ間ニ於テハ相當ノ差ノ存スルヲ認ム 將來宜シク審査標準ノ活用ト合理的登錄組織ノ勵行ニ努ムルヲ要ス

調教ハ一般ニ普及發達シ手入亦良好ナルハ之ヲ賞スベク體型ニ付テ述ブレバ中軀ノ張り概シテ宜シク

ク前回ニ比シ後軀ノ幅及傾斜改善セラレ更ニ體緊實シ蹄形良好ナルモノ多キヲ加ヘタルヲ欣ブ然レドモ尙毛色黒キニ過グルモノ或ハ角及皮毛等ノ資質不良ニシテ顏貌宜シカラズ品位ニ乏シク或ハ過肥ニ陥リ若ハ飛節・繫ノ状態不良ニシテ歩様良好ナラザルモノ多カリシハ遺憾トスル所ナリ又前肋ノ張り不十分ナルモノ、背腰弱キモノ、腰角突出セルモノ、臍ノ位置不良ナルモノ等ハ此後改善ヲ要スベキ缺點ナリトス 大分縣ノ出品中牡ハ比較的優良ノモノ多キモ牝之ニ伴ハザル憾アリ一般ニ體軀均稱ヲ得、肉付適當ニシテ蹄型良好ナルモ骨太キモノアリ特ニ牝ニ於テハ資質宜シキモノ尠ク品位ニ乏シキヲ遺憾トス此後ノ改良繁殖上考慮ヲ要スベシ 熊本縣ノ出品ハ前回ニ比シ毛色及體型ノ大サ整一セルヲ明カニ認メラルルモ彼毛粗剛・體軀詰リ肩厚キニ過ギ骨太ク品位ニ乏シキハ遺憾トスル諸點ナリトス 長崎縣ノ出品ハ牝ニ於テ良ク整一シ一段ノ進歩ヲ示セリ即チ概シテ皮毛宜シク乳器佳良ニシテ中軀ノ張り・後軀ノ幅及傾斜ノ状態良好ナルモノ多キモ前胸ノ幅ニ乏シキモノ、尾根部不良ノモノ等アリ又牡ノ成績ハ牝ニ及バザルヲ遺憾トス

ホルスタイン種ハ一頭ノ未登錄牛ヲ除ケバ他ハ何レモ登錄牛ナルモ極メテ乳徵ニ乏シク乳器ノ發達宜シカラズ後軀不良ノモノ多シ 之ヲ本邦乳牛界ノ現状ニ鑑ミル時ハ甚ダ改良ヲ要スルモノ多シ宜シク優良血統ノ利用繁殖ニ留意シ、育成・飼養管理ヲ合理的ナラシメ產乳經濟ノ向上ニ努メザルベカラズ

第二部 種馬

種馬ノ出品ハ牡三頭・牝五十七頭・計六十頭ニシテ之ヲ年齡別ニスレバ三歳三十三頭・四歳二十三頭・五歳四頭・六歳一頭、更ニ之ヲ役種別ニスレバ乘馬十四頭・輕挽馬四十六頭トス

乘馬ハ前回ニ比スレバ資質稍向上シ軀幹・肢節ハ概ネ階調ヲ得タリト雖尙胸廓狹ク細骨ニシテ下肢ノ堅實ヲ缺クモノ尠カラザルハ遺憾トスル所ニシテ之等ハ宜シク種馬配合ノ適正ヲ圖ルト共ニ育成ノ完全ヲ期シ體型ノ整備並肢蹄ノ堅實ニ努ムル要アリ

輕挽馬ハ改良ノ跡頗ル顯著ニシテ體高概ネ整一シ幅員及骨量ニ富ミ肢蹄ノ軟弱ナルモノ尠キハ最モ欣快トスル所ナリ然レドモ筋腱ノ發育不良ノモノ又過肥ニ失スルモノ或ハ護蹄ノ失宜ニ因リ運步整正ナラザルモノアルヲ以テ將來宜シク合理的飼養管理ニ一層ノ研鑽ヲ望ム

更ニ之ヲ縣別ニ概評スレバ

長崎縣ハ出品十頭悉ク輕挽馬ニシテ體積ニ富ミ骨量亦之ニ伴ヒ體型概ネ整備セルモ尙過肥ニ失シ重厚ニシテ步樣輕快ナラザルモノアリ 大分縣ハ輕挽馬七頭ニシテ後軀ノ發育不良、下肢軟弱ナルモノ或ハ馴致不良ナルモノアルヲ以テ將來之ガ改善ニ一層ノ努力ヲ要ス 鹿兒島縣ハ乘馬八頭・輕挽馬四頭就中乘馬ハ氣品悍威ニ富ミ四肢良ク乾燥スルモ體型區々ニシテ長肢細骨殊ニ下肢ノ堅實ヲ缺ク

モノ多シ、輕挽馬ニ在リテハ種馬配合ノ適正ヲ缺ギ血種ノ固定充分ナラズ其ノ體型未ダ整備セズ玉石混淆ノ嫌アリ將來一段ノ工夫ヲ要ス 佐賀縣ハ輕挽馬五頭前回ニ比スレバ改良ノ跡頗ル顯著ニシテ何レモ小格ノ實用馬ナルモ尙四肢ニ缺點多ク運步ノ輕快ナラザルモノヲ認ム 福岡縣ハ輕挽馬二頭ニシテ體軀均整ヲ缺キ四肢堅實ナラザル憾アリ 熊本縣ハ輕挽馬十二頭ニシテ體型・資質向上シ體積・骨量ニ富ミ改良ノ跡著シキモノアリ然レドモ尙體高稍過高ニ失シ後軀ノ發育之ニ伴ハザルモノアリ 宮崎縣ハ乘馬六頭・輕挽馬六頭・計十二頭ニシテ乘馬ハ體高概ネ整一スルモ未ダ細骨ニ失スル嫌アリ、輕挽馬ハ體型・資質佳良ナルモノアルモ尙四肢ニ缺點アルモノ多シ

第三部 役馬

役馬ノ出品ハ今回ヲ以テ嚆矢トシ輕挽馬二十頭・農馬二十頭・計四十頭トス

輕挽馬ニ在リテハ體型・資質概ネ良好ニシテ輕曳ニ於テモ略所期ノ能力ヲ發揮シ得タリト雖上體過重ニシテ四肢之ニ伴ハザルモノ、臀股筋ノ發育不良ナルモノ或ハ中軀短ク餘裕ニ乏シキモノアリ尙使役管理ノ失宜ニ因ル損微多ク本來ノ能力ヲ充分發揮シ得ザルモノアリ

更ニ之ヲ縣別ニ概評スレバ

福岡縣ノ出品ハ體型概ネ良好ニシテ輕曳成績亦佳良ナリ 佐賀縣ノ出品ハ輕曳良好ナルモ體型稍

區々ニシテ使役管理ノ失宜ニ因ル損微失格ヲ有スルモノ尠カラズ 長崎縣ノ出品ハ體型概ネ可ナル
 モ四肢ノ堅實味ヲ缺ギ輓曳能力充分ナラズ 熊本縣ノ出品ハ體型・資質及輓曳能力共ニ優秀ナリ
 大分縣ノ出品ハ體型稍菲薄ニシテ輓曳狀態充分ナラズ 宮崎縣ノ出品ハ堅實味ヲ有シ輓曳亦可ナリ
 鹿兒島縣ノ出品ハ輓曳成績可ナルモ體型整一ナラズ
 農馬ニ在リテハ體型・資質概ネ良好ニシテ之ガ選擇ニ苦心ノ跡ヲ認ムルモ稍輕格ニ失シ四肢軟弱ナ
 ルモノアリ 耕耘並輓曳ハ本邦馬利用先進地タルノ名ニ背カズ豫期以上ノ成績ヲ收メタルモ使役管理
 ノ失宜ニ因ル損微ノ爲天賦ノ能力ヲ發揮シ得ザルモノアリ
 更ニ之ヲ縣別ニ概評スレバ

福岡縣ハ體型・資質良好ニシテ耕耘・輓曳共ニ拔群ノモノアリ 佐賀縣ノ出品ハ體型地低ク整一
 ニシテ耕耘・輓曳ニ相當ノ成績ヲ示シタルモ尙馴致調教ニ改善ノ餘地アリ 熊本縣ノ出品ハ體型・
 資質佳良ニシテ能力亦良好ナリ 大分縣ノ出品ハ體型及耕耘共ニ可ナルモ尙輓曳能力ノ向上ニ努ム
 ル要アリ 宮崎・鹿兒島兩縣ノ出品ハ輓曳作業ニ相當ノ成績ヲ示シタルモ馬ノ選擇並耕耘ニ一段ノ
 工夫ヲ要ス
 之ヲ要スルニ役馬ノ選定ニ當リテハ尙一層ノ研鑽ヲ重ネ飼養管理ノ完璧ヲ期スルト共ニ合理的使役
 ニ依リ天賦ノ性能ヲ發揮セシメ以テ役馬利用ノ効果ヲ増進スルノ要アリ

第四部 種 緬 羊

種緬羊ノ出品ハラムブーイエメリノ種八頭・コリーテール種二十一頭・雜種一頭・計三十頭トス
 體型・資質概ネ良好ニシテ前回ニ比シ各縣ノ間ニ著シキ優劣ノ差ヲ見ザルハ寔ニ欣快トスル所ナリ
 然レドモ發育不良ニシテ體軀矮少ナルモノ、種類ノ特徴ヲ備ヘザルモノ、飼養管理ノ失宜ニヨリ被毛
 ノ汚染セルモノ或ハヨークノ分泌適當ナラザルモノ、過肥ニ陥リ種畜トシテノ價値ヲ著シク減セルモ
 ノ等アリ 此後種畜ノ選擇・育成・被毛ノ管理・粗莖ノ給與等ニ留意スルヲ要ス

長崎縣ノ出品ハ前回ニ比シ體型・資質共ニ著シク向上セリ 熊本縣ノ出品ハ體型概ネ整備シ被毛
 並肢蹄ノ管理良好ニシテ九州地方ニ於ケル緬羊飼育先進地ノ實ヲ示セルモ過肥ニ陥レルモノアルヲ遺
 憾トス 宮崎縣ノ出品ハ一般ニ體積ニ乏シク毛脚短ク被毛ノ管理不良ナリ

第五部 種 豚

種豚ノ出品ハヨークシャー種牝六頭・牝二十七頭・パークシャー種牝十七頭、計五十頭ナリ
 之ヲ前回ニ比スルニ概シテ進歩ノ跡ヲ示シ特ニ劣等ノモノ尠キハ洵ニ欣快トスル所ナリ然レドモ詳
 ニ觀レバ尙改良ヲ要スル點尠シトセズ即チ兩種ヲ通ジテ種豚トシテノ活力ニ乏シキモノ、過肥ニ陥ル

ヲ懼レテ却ツテ體軀ノ發育ヲ抑制シタルモノ、體側ニ皺襞ヲ存スルモノ、四肢纖細ニ失シテ虛弱ナルモノ或ハ著シク斜尻ナルモノ、乳頭ノ配置宜シカラザルモノ、特ニ腫瘍傷痕ノ爲出品ニ適セザルモノ等アリ

更ニ種類別ニ検討スレバヨークシャー種中肥隘ニ過ギテ種畜タルノ價值ヲ疑ハシムルモノアリ、腹部捲縮シテ體軀ノ深サ不足シ凹背ノ傾アルモノ或ハ皮膚ニ著シキ黒點ヲ有スルモノ、牡豚ニシテ牡相ニ乏シキモノ等アリ又バークシャー種ニ在リテハ顔面過長ナルモノ或ハ後肢踏込ミ深ク歩様不良ナルモノ、尾ニ損傷アルモノ等アリ

之ヲ要スルニ將來種豚ノ選擇並育成期ニ於ケル飼養管理ニ留意シ一層堅實ナル種豚ヲ作出スルノ要アリト認ム

第六部 種 鶏

種鶏ノ出品ハ單冠白色レゲホーン種四十九點・横斑フリマスロツク種十八點・名古屋種二十六點・

改良地方種七點、計百點ナリ

前回ニ比シ進境ノ跡ヲ認メ得ルモノアルモ尙幾多改良ヲ要スルモノ尠ナシトセズ

即チ單冠白色レゲホーン種ニ在リテハ容姿端麗ニ過ギ體重輕キモノ、尾着著シク不良ニシテ粗野ノ

觀アルモノ、前軀ト後軀トノ均稱ヲ失セルモノアリ又眼色ノ異常ナルモノ、趾毛ヲ有スルモノ、雌ニシテ距ノ伸長セルモノ等アリタルハ甚ダ遺憾トス尙飼養管理ノ失宜ニ因リ鶏痘其ノ他ノ疾患ニ罹レルモノ、特ニ雌雄ノ配合不適ナルモノ等アリ

横斑フリマスロツク種ニ在リテハ一般ニ體型不良ニシテ羽裝未ダ整備セズ羽色ノ不鮮明ナルモノ多ク又脛ノ形狀宜シカラザルモノ等尠ナカラズ

名古屋種ニ在リテハ改良ノ跡看ルベキモノアリト雖體型佳良ナルモノハ羽色概ネ濃厚ニ失シ羽色鮮美ナルモノハ體軀宜シカラザルモノ多キハ甚ダ遺憾トス尙脛趾ニ羽毛ノ發生セルモノ又ハ頸・尾ニ異色ヲ呈セルモノ等アリ

熊本縣ヨリ出品セル改良地方種ハ體軀區々ナルノミナラズ羽色亦整備セザルモノ多シ

第七部 畜産製造品

畜産製造品ノ出品ハ乳製品・肉製品・蜂蜜及卵製品ニシテ合計十三種三十點ナリ 前回ニ比スレバ品質一般ニ向上セル觀アルモ亦一方ニ於テハ却ツテ其ノ低下セルモノアルヲ遺憾トス

即チ乳製品中バターハ加工々程ニ於テ、醱酵乳ハ乳酸菌並香料ノ選擇及醱酵方法ニ於テ夫々改善ヲ要スベキ點多ク又肉製品ハ進歩改善ノ跡顯著ナリト雖尙鹽漬並燻烟適正ナラズボーンレスハムノ如キ



ハ調製方法ニ於テ更ニ研究ノ餘地アルヲ認ム。蜂蜜ハ概シテ良品少ク色澤著シク濃キモノ、調製不良ナルモノ、濃度稀薄ナルモノ等アリ。

將來各製品共一層優良品ノ製出ニ努力スルノ要アリ。

第八部 畜産ニ關係アル農具及器具機械

畜産ニ關係アル農具及器具機械ノ出品ハ五種二十四點ニシテ犁ノ七點ヲ最多數トス。今出品ヲ概觀スルニ耕種用ニ屬スルモノ多數ヲ占メ其ノ考案・構造概ネ妥當適切ニシテ耐久性アリテ實用ニ適スルモノト認メ得ベシ然レドモ近時畜農業ノ普及ニ伴ヒ益其ノ重要性ヲ認メラルル畜力原動機並穀物調製用機械ノ出品尠キハ洵ニ遺憾トスル所ナリ尙出品中多數ヲ占ムル犁類ニ付一言センニ其ノ優良ナルモノハ用途ニ應ジテ安定・反轉・切味等ニ關シ特ニ意ヲ用フルト共ニ材料・工作及組立ニ深甚ナル考慮ヲ拂ヒ調節簡單ニシテ使用極メテ容易ナリ然レドモ中ニハ尙安定ヲ缺クモノ、反轉充分ナラザルカ又ハ過度ニ失スルモノ、調節部ノ構造徒ニ複雑ナルモノ、材料適切ナラザルモノ、工作粗雜ナルモノ等アルヲ以テ將來一層研鑽ヲ重ネ改善ニ努メ優良犁ノ製作ヲ期セムコトヲ望ム。

九 共進會一般ノ批評

本共進會場ハ福岡市平尾（市内電車平尾停留所前南側）ノ區劃整理シタル空地約八千坪ノ地域ニ設ケラレ交通至便ナリ而シテ場内ニ於ケル畜舎・審査場其ノ他建設物ノ配置亦良好ニシテ此種共進會ノ設備トシテハ概ネ可良ナルモ會場廣場ハ區劃整理ノ儘ナル爲排水不良ノ憾アリ。輓曳審査場ニハ本會場ヲ基點トシテ西南方ノ起伏セル住宅街ヲ通スル大道路ヲ利用シテ距離約三千里ノ經路ヲ選定シ又耕耘審査場ニハ本會場ヨリ稍遠隔ナルモノ、東南方約一里ノ市内鹽原（久留米急行電鐵大橋驛下車）ノ水田ヲ充テタリ、會期中ハ十五日午後多少降雨アリシ外全ク好天候ニ惠マレ各部ノ審査何レモ順調ニ進行シ又觀覽者連日多數ニシテ共進會所期ノ目的ヲ達成シタルコトヲ疑ハズ。

共進會附帶事業トシテハ本會場隣接地ニ於テ帝國馬匹協會主催馬利用農具實演展覽會、福岡縣廳會議室ニ於テ九州獸醫師大會、福岡市記念館ニ於テ九州家畜保險大會・家畜保險講演會・家畜保險普及映畫會・九州畜産大會及九州中國各縣畜産組合聯合會長會議、本會場ニ於テ軍用犬展覽會、附近ノ小學校ニ於テ家畜衛生映畫會等ノ開催アリ何レモ盛況裡ニ終始シ畜産思想普及上効果多大ナリシモノト認ム。

副賞トシテ中央畜産會ヨリ家畜・家禽ノ一等賞乃至三等賞ノ出品者ニ賞狀及賞章ヲ、帝國馬匹協會ヨリ出品馬ノ成績優秀ナル熊本縣畜産組合聯合會ニ賞狀及賞典ヲ、帝國競馬協會ヨリ種馬及役馬ノ一等賞、二等賞、福岡縣畜産組合聯合會ヨリ同三等賞ノ出品者ニ賞狀及賞金ヲ、養鷄組合中央會ヨリ種

鶏ノ一等賞乃至三等賞ノ出品者ニ賞狀及賞典ヲ、本共進會ヨリ畜産製造品及畜産ニ關係アル農具及器具機械ノ一等賞乃至三等賞ノ出品者ニ賞狀及賞金ヲ、福岡日々新聞社ヨリ種牛及種馬ノ一等賞出品者ニ優勝旗ヲ贈與セル外鹿兒島新聞社寄贈ノ優勝旗ハ種牛ニ在リテハ大分縣へ、種馬ニ在リテハ長崎縣へ授與セラレタリ

十 擬賞概表

第一部 種牛

出品縣	出品		擬賞等級	計	擬出品對歩ス人員合
	點數	人員			
福 佐	一五	一三	一	二	五
長 熊	一三	一三	一	二	五
大 宮	二〇	一四	二	三	五
鹿 兒	一五	一三	一	二	五
計	一〇〇	一〇〇	二	八	五
岡 賀	一五	一三	一	二	五
崎 本	一四	一三	一	二	五
分 崎	一四	一三	一	二	五
島 崎	一五	一三	一	二	五
計	一〇〇	一〇〇	二	八	五

第二部 種馬

出品縣	出品		擬賞等級	計	擬出品對歩ス人員合
	點數	人員			
福 佐	一〇	一五	一	二	五
長 熊	一〇	一五	一	二	五
大 宮	一三	一七	二	三	五
鹿 兒	一三	一七	二	三	五
計	六〇	六〇	二	八	五
岡 賀	一〇	一五	一	二	五
崎 本	一〇	一五	一	二	五
分 崎	一三	一七	二	三	五
島 崎	一三	一七	二	三	五
計	六〇	六〇	二	八	五

第三部 役馬

出品縣	出品		擬賞等級	計	擬出品對歩ス人員合
	點數	人員			
福 佐	一三	一八	一	二	五
岡 賀	一三	一八	一	二	五
計	二六	三六	二	四	五

佐福	出品縣	第六部 種 鷄	點出	二〇
賀岡	人員品		二〇	
	擬		一	
	賞		一	
	等		五	
	級		二五	
	計		二二	
	擬=出 賞對品 歩ス人 合ル員		一七 五五	

鹿宮大熊長佐福	出品縣	第五部 種 豚	點出	五〇
計兒	人員品		一三	
島崎分本崎賀岡	擬		一	
	賞		四	
	等		八	
	級		二五	
	計		二五	
	擬=出 賞對品 歩ス人 合ル員		五〇 六九 二九 二五 三三 六〇 六三 四〇	

鹿宮大熊長佐福	出品縣	第四部 種 緬羊	點出	三〇
計兒	人員品		四六	
島崎分本崎賀岡	擬		一	
	賞		三	
	等		六	
	級		五一	
	計		一五	
	擬=出 賞對品 歩ス人 合ル員		五〇 二五 三三 一〇 六四 五〇 五〇 五〇	

鹿宮大熊長	出品縣	第四部 種 緬羊	點出	四〇
計兒	人員品		四四	
島崎分本崎	擬		二	
	賞		三	
	等		七	
	級		八	
	計		二〇	
	擬=出 賞對品 歩ス人 合ル員		五〇 二五 五〇 三三 八〇 二五	

十一 擬賞明細表

第一部 種牛

一等賞

金牌

賞金百貳拾圓

貳

名

鹿宮大熊長佐福		出品縣	
計兒	島崎分本崎賀岡	出品	縣
四	二	二	一
二	一	六	一
一	一	一	二
二	三	一	一
一	一	五	一
一	一	一	九
一	一	一	一
二	一	一	一
四	一	一	三
三	一	一	一
一	一	一	五
五	一	一	五
五	一	一	五

第八部

畜産ニ關係アル農具及器具機械

鹿宮大熊長佐福		出品縣	
計兒	島崎分本崎賀岡	出品	縣
三	五	二	三
五	二	三	六
三	六	三	六
二	三	一	一
一	一	三	四
三	四	三	五
一	一	一	一
三	一	一	一
四	一	一	二
二	一	一	一
一	一	一	二
一	一	一	二
五	六	一	四
一	〇	〇	〇
三	二	一	〇
二	五	〇	〇
四	〇	〇	〇

第七部

畜産製造品

鹿宮大熊長		出品縣	
計兒	島崎分本崎	出品	縣
一	〇	一	〇
一	五	一	五
一	六	一	六
一	四	一	四
一	八	一	八
一	〇	一	〇
一	五	一	五
一	五	一	五
一	六	一	六
一	四	一	四
一	八	一	八
八	一	二	三
一	三	三	三
一	八	三	三
二	三	三	三
三	三	三	三
五	三	五	三
二	三	二	二
五	七	一	九
七	七	〇	四
五	〇	四	四
四	七	六	六
五	〇	六	五

種	改良和種	性	同	名	龜山一二八	生年月	同 八・七	毛色	同 黒	住	大分縣大野郡白山村	氏名	眞名井龜五郎
種	同	性	同	名	小波	生年月	同 八・〇	毛色	同 褐	住	熊本縣阿蘇郡馬見原町	氏名	松永榮松

一 一 等 賞 銀 牌 賞 金 六 拾 圓 八 名

種	改良和種	性	同	名	大内	生年月	同 八・七	毛色	同 黒	住	大分縣大分郡南庄内村	氏名	麻生忠雄
種	同	性	同	名	吉榮	生年月	同 九・九	毛色	同 同	住	長崎縣南松浦郡三井樂村	氏名	吉原秀吉
種	同	性	同	名	渡花	生年月	同 九・四	毛色	同 同	住	長崎縣壹岐郡渡良村	氏名	谷與八
種	同	性	同	名	第十豐富	生年月	同 八・二	毛色	同 同	住	大分縣大分郡野津原村	氏名	工藤松信
種	同	性	同	名	若諫	生年月	同 八・二	毛色	同 同	住	福岡縣鞍手郡若宮村	氏名	安永守
種	同	性	同	名	山藤	生年月	同 八・九	毛色	同 同	住	鹿兒島縣始良郡横川村	氏名	久留須金之助
種	同	性	同	名	白藤	生年月	同 九・四	毛色	同 褐	住	熊本縣球磨郡四浦村	氏名	高岡藤助
種	同	性	同	名	第二初花	生年月	同 九・三	毛色	同 黒	住	宮崎縣西臼杵郡岩戸村	氏名	佐藤喜多治

三 等 賞 銅 牌 賞 金 參 拾 圓 拾 六 名

種	改良和種	性	同	名	庄屋	生年月	同 九・一	毛色	同 黒	住	長崎縣南松浦郡岐宿村	氏名	荒木善藏
種	同	性	同	名	第二利根	生年月	同 九・四	毛色	同 同	住	長崎縣南松浦郡崎山村	氏名	清水利惣
種	同	性	同	名	八千代	生年月	同 八・七	毛色	同 同	住	大分縣大分郡別保村	氏名	後藤喜太郎
種	同	性	同	名	第十五鶴	生年月	同 八・三	毛色	同 同	住	大分縣玖珠郡南山田村	氏名	梅木慶次
種	同	性	同	名	末廣	生年月	同 九・四	毛色	同 褐	住	熊本縣球磨郡上村	氏名	犬童敬太郎
種	同	性	同	名	ヨネ	生年月	同 八・〇	毛色	同 黒	住	鹿兒島縣贈那西志布志村	氏名	堂添篤
種	同	性	同	名	フミ	生年月	同 九・二	毛色	同 同	住	福岡縣京都郡苅田町	氏名	小野一二三
種	同	性	同	名	ハギノ	生年月	同 八・〇	毛色	同 同	住	宮崎縣東諸縣郡高岡町	氏名	萩野今朝熊
種	同	性	同	名	第二川北	生年月	同 九・四	毛色	同 同	住	佐賀縣小城郡北多久村	氏名	森上平太
種	同	性	同	名	大久一	生年月	同 九・一	毛色	同 同	住	大分縣大野郡牧口村	氏名	後藤久
種	同	性	同	名	大西二八	生年月	同 八・八	毛色	同 同	住	大分縣玖珠郡玖珠町	氏名	西野眞純
種	同	性	同	名	珠菊	生年月	同 八・八	毛色	同 同	住	大分縣玖珠郡玖珠町	氏名	末松鶴馬
種	同	性	同	名	波久	生年月	同 九・四	毛色	同 褐	住	熊本縣阿蘇郡宮地町	氏名	郡畜産組合
種	同	性	同	名	榮山	生年月	同 九・三	毛色	同 黒	住	鹿兒島縣薩摩郡水引村	氏名	堂脇豐志
種	同	性	同	名	白山	生年月	同 九・二	毛色	同 同	住	福岡縣田川郡勾金村	氏名	永野寅吉
種	同	性	同	名	ホルスタイン種	生年月	同 八・一	毛色	同 白黒斑	住	佐賀縣西松浦郡大坪村	氏名	中島秀一

四等賞褒狀

貳拾四名

八六

種類	性	名號	生年月	毛色	住品所	氏名
改良和種	牝	第一榮	同 九 四	黒	宮崎縣西白杵郡岩戸村	佐藤 徹
同	同	トミ	同 九 三	同	宮崎縣北諸縣郡山之口村	別府 藤男
同	同	コトブキ	同 九 四	同	宮崎縣宮崎郡清武村	中村 九め
同	同	白久岩	同 九 四	同	長崎縣南松浦郡崎山村	川崎 吉十郎
同	同	松久	同 九 四	同	長崎縣壹岐郡箱崎村	隈 保
同	同	第五金龍	同 九 一	同	大分縣大野郡大野町	足立 一夫
同	同	タカ	同 九 三	同	鹿兒島縣噲唵郡末吉町	中崎 次郎右衛門
同	同	シカ	同 八 一	同	鹿兒島縣揖宿郡山川町	外園 與之助
同	同	金州	同 八 六	同	鹿兒島縣噲唵郡西志布志村	吉元 定吉
同	同	政本	同 九 三	同	福岡縣田川郡採銅所村	山田 政幸
同	同	池本	同 九 二	同	福岡縣田川郡方城村	池本 手太郎
同	同	天文	同 九 二	同	佐賀縣東松浦郡湊村	宮本 久吉
同	同	關榮	同 九 二	同	熊本縣天草郡本渡町	鶴田 又八
同	同	大觀	同 八 〇	同	大分縣大野郡柴原村	廣瀬 清忠
同	同	福泉	同 八 〇	同	大分縣大分郡湯平村	麻生 直記

同	同	光義	同 八 九	褐	熊本縣阿蘇郡山西村	山口 松太郎
同	同	光豐	同 九 四	同	熊本縣阿蘇郡波野村	市原 渡
同	同	倉浦	同 八 二	黒	鹿兒島縣薩摩郡高江村	兒玉 早吉
同	同	光香	同 九 二	同	福岡縣田川郡勾金村	原口 光藏
同	同	第五七平美	同 八 四	同	長崎縣北松浦郡平戸町	北松浦郡 畜産組 合郡
同	同	ホルスタイン種	同 七 一	白黒斑	佐賀縣西松浦郡大坪村	山口 彌右衛門
同	同	同	同 七 一	黒白斑	佐賀縣西松浦郡東山代村	山口 忠
同	同	同	同 八 七	同	福岡縣企救郡曾根町	村田 猛
同	同	同	同 七 六	同	福岡縣小倉市	木山 國會

第二部種馬
 一等賞銀牌
 賞金百五拾圓
 貳名

種類	性	名號	生年月	毛色	住品所	氏名
ア内國產 ラアング 種ロ	牝	ローマスト	同 七 三	鹿	鹿兒島縣噲唵郡西志布志村	竹之内次郎太

内國産洋種 同 第三瑞穂 同 八三同 宮崎縣西白杵郡高千穂町 戸高 荒市

三等賞銅牌 賞金九拾圓

種	内國産洋種	性	牝	名	第三カイジマ	生年月	同 八三	毛色	鹿	住	宮崎縣西白杵郡岩戸村	氏	佐藤 太郎
種	雜種	性	同	名	第二千歳	生年月	同 七四	毛色	栗	住	鹿兒島縣熊毛郡中種子村	氏	鮫島 猛
種	内國産洋種	性	同	名	錦江	生年月	同 八五	毛色	鹿	住	鹿兒島縣肝屬郡串良町	氏	上甫 木市二

四等賞褒狀

種	内國産洋種	性	牝	名	第七神藤	生年月	同 八四	毛色	栗	住	宮崎縣西白杵郡高千穂町	氏	佐藤 國市
種	雜種	性	同	名	源	生年月	同 八四	毛色	同	住	鹿兒島縣始良郡牧園村	氏	松下 紀代志

輕輓馬

一等賞金牌 賞金貳百四拾圓

種	内國産洋種	性	牝	名	第六春雨	生年月	同 八五	毛色	栗	住	熊本縣阿蘇郡草ヶ部村	氏	渡邊 初彦
種	雜種	性	同	名	彌生	生年月	同 八三	毛色	同	住	長崎縣南高來郡深江村	氏	水田 徳男

二等賞銀牌 賞金百五拾圓

種	内國産洋種	性	牝	名	千早	生年月	同 七四	毛色	栗	住	宮崎縣兒湯郡川南村	氏	松浦 三吉
種	同	性	同	名	初代	生年月	同 八二	毛色	同	住	熊本縣鹿本郡山東村	氏	古田 儀作
種	同	性	同	名	高園	生年月	同 六四	毛色	鹿	住	鹿兒島縣肝屬郡小根占村	氏	小高 峯米吉
種	同	性	同	名	高原	生年月	同 七三	毛色	枳栗	住	長崎縣南高來郡深江村	氏	松尾 増男

三等賞銅牌 賞金九拾圓

九名

種	類	性	名	號	生年月	毛色	住	出	品	氏	人
雜	種	騾	第一	大福	騾	七	鹿	福岡縣久留米市		荻	政吉
賞	銅牌	賞金參拾圓	四	名							

種	類	性	名	號	生年月	毛色	住	出	品	氏	人
雜	種	騾	松	風	騾	二	青	宮崎縣兒湯郡高鍋町		宇都宮	親
雜	種	同	タ	カ	同	五	鹿	福岡縣福岡市		中村	三太郎
雜	種	同	ト	イ	同	三	同	鹿兒島縣始良郡隼人町		德田	助太郎
同	種	牝	四	ツ	同	二	黑	宮崎縣兒湯郡木城村		橋口	肇
賞	四等賞褒狀	四	名								

種	類	性	名	號	生年月	毛色	住	出	品	氏	人	
雜	種	牝	高	二	山	騾	二	鹿	熊本縣阿蘇郡高森町		佐藤	政利
賞	四等賞褒狀	四	名									

種	類	性	名	號	生年月	毛色	住	出	品	氏	人
內國產	洋種	騾	常	盤	同	五	同	福岡縣山門郡大和村		吉開	兼吉
雜	種	同	玉	春	同	六	栗	長崎縣東彼杵郡西大村		柗本	喜代作
內國產	洋種	同	第七	ホール	同	七	鹿	佐賀縣三養基郡中原村		古賀	彌三郎
賞	金牌	賞金百圓	壹	名							

農馬

種	類	性	名	號	生年月	毛色	住	出	品	氏	人
雜	種	騾	入	江	騾	五	鹿	福岡縣築上郡友枝村		大石	政治
賞	一等賞銀牌	賞金五拾圓	貳	名							

種	類	性	名	號	生年月	毛色	住	出	品	氏	人
雜	種	牝	昭	龍	騾	五	鹿	佐賀縣佐賀郡嘉瀬村		江原	政六
雜	種	同	第一	菊花	同	七	鹿	熊本縣菊池郡陣内村		大田	黑孫一
賞	一等賞銀牌	賞金五拾圓	貳	名							

三等賞銅牌 賞金貳拾五圓

種	類	性	名	號	生年月	毛色	住	出	所	品	氏	人
種	ハクニイ雜種	騾	奧	山	同 七 三	同 栗	福岡縣糟屋郡多々良村	大分縣大分郡南庄内村	熊本縣鹿本郡中富村	富田 貞治	光安 六平	衛藤 鶴吉

四等賞褒狀

四名

種	類	性	名	號	生年月	毛色	住	出	所	品	氏	人		
種	雜種	騾	ク	武	同 六 三	同 鹿	福岡縣粕屋郡箱崎町	佐賀縣小城郡牛津町	福岡縣糸島郡怡土村	福岡縣福岡市	明石 伊勢吉	野田 秀雄	松崎 甚四郎	中村 進

第四部 種 緬羊

一等賞金牌 賞金四拾圓

壹名

種	類	性	名	號	生年月	毛色	住	出	所	品	氏	人
種	コリーデール種	牝	七	三	同 六 三	同 白	熊本縣鹿本郡山東村	林田 桂次郎				

二等賞銀牌 賞金貳拾圓

參名

種	類	性	名	號	生年月	毛色	住	出	所	品	氏	人
種	コリーデール種	牝	小	野	同 八 三	同 白	長崎縣北高來郡小野村	熊本縣葦北郡水俣町	熊本縣菊池郡清泉村	井上 武德	芦塚 廣海	城山 直行

三等賞銅牌 賞金拾五圓

六名

種	類	性	名	號	生年月	毛色	住	出	所	品	氏	人
種	コリーデール種	牝	一	七	同 八 三	同 白	熊本縣鹿本郡櫻井村	松村 英記				

種	類	性	名	號	生年月	毛色	住	出	品	氏	人
同	ラムブリーノイ種	同	長田	三	同	同	長崎縣北高來郡長田村			古川	忠吉
同	ラムブリーノイ種	同	庄内	九ノ一	同	同	宮崎縣北諸縣郡庄内町			帖佐	巍
同	ラムブリーノイ種	同	七		同	同	熊本縣葦北郡水俣町			山内	九郎治
同	ラムブリーノイ種	同	五		同	同	熊本縣菊池郡泗水村			森永	長十
同	ラムブリーノイ種	同	一〇	九	同	同	熊本縣菊池郡合志村			山田	惠也

四等賞褒狀

五名

種	類	性	名	號	生年月	毛色	住	出	品	氏	人
同	ラムブリーノイ種	同	庄内	九ノ二	同	同	宮崎縣北諸縣郡庄内町			坂元	米助
同	ラムブリーノイ種	同	寶	一〇	同	同	福岡縣築上郡南吉富村			矢野	達雄
同	ラムブリーノイ種	同	一		同	同	大分縣直入郡久住町			阿部	謙恕
同	ラムブリーノイ種	同	三	一	同	同	鹿兒島縣薩摩郡下甕村			藤田	オツミ
同	ラムブリーノイ種	同	勝		同	同	佐賀縣神埼郡脊振村			南里	勝市

第五部種豚

一等賞金牌 賞金四拾圓

壹名

種	類	性	名	號	生年月	毛色	住	出	品	氏	人
同	ヨークシャー種	同	愛	宕	同	同	宮崎縣延岡市			吉田	芳造

二等賞銀牌 賞金貳拾圓

四名

種	類	性	名	號	生年月	毛色	住	出	品	氏	人
同	ヨークシャー種	同	白	泉	同	同	佐賀縣藤津郡多良村			白水	辰一
同	ヨークシャー種	同	蘇	鐵	同	同	鹿兒島縣鹿兒島市			中川	善吉
同	ヨークシャー種	同	第一	松榮	同	同	宮崎縣東臼杵郡門川町			木下	松吉
同	ヨークシャー種	同	山	神	同	同	鹿兒島縣川邊郡枕崎町			今給	黎國武

三等賞銅牌 賞金拾五圓

八名

種	類	性	名	號	生年月	毛色	住	出	品	氏	人
同	ヨークシャー種	同	秋	光	同	同	佐賀縣三養基郡基山村			原	四三郎
同	ヨークシャー種	同	ミツク	二	同	同	大分縣南海部郡鶴岡村			高治	レン

品名	蜂 蜜	商標	Ⓢ Ⓣ	產地	佐賀縣 鹿兒島縣 宮崎縣 佐賀縣	住 出	佐賀縣小城郡芦刈村 鹿兒島縣熊毛郡西之表町 宮崎縣都城市 佐賀縣藤津郡多良村	所 品	西村榮 有限責任種子島酪農販賣購買利用組合	氏 人 名	山元藤一 白水辰一
----	-----	----	-----	----	------------------	-----	--	-----	-----------------------	-------	-----------

四等賞褒狀

貳名

品名	カアピス 蜜	商標	Ⓢ	產地	福岡縣 熊本縣	住 出	福岡縣直方市 熊本縣玉名郡玉水村	所 品		氏 人 名	岸本一夫 德永直人
----	--------	----	---	----	---------	-----	------------------	-----	--	-------	-----------

第八部 畜産ニ關係アル農具及器具機械

一等賞金牌

壹名

品名	①式深耕犁 革新三日月號	商標		產地	熊本縣	住 出	熊本縣球磨郡人吉町	所 品		氏 人 名	指宿武夫
----	--------------	----	--	----	-----	-----	-----------	-----	--	-------	------

二等賞銀牌

貳名

品名	新玉號犁 菊住式大島犁優勝號	商標	Ⓢ Ⓣ	產地	福岡縣 熊本縣	住 出	福岡縣早良郡脇山村 熊本縣熊本市	所 品		氏 人 名	大鶴米吉 菊住伊八
----	----------------	----	-----	----	---------	-----	------------------	-----	--	-------	-----------

三等賞銅牌

四名

品名	大和號深耕犁A型 磯野式畦溝浚機 作溝犁 長式畦溝犁	商標	Ⓢ Ⓣ	產地	熊本縣 福岡縣 福岡縣 福岡縣	住 出	熊本縣飽託郡川尻町 福岡縣福岡市 福岡縣福岡市 福岡縣糟屋郡多々良村	所 品	合資會社大和商會 磯野人七平 深見平次郎 長末吉	氏 人 名	
----	----------------------------	----	-----	----	-----------------	-----	------------------------------------	-----	--------------------------	-------	--

四等賞褒状

品名	森田式兩德深耕犁 畜力原動機 丸王式製粉機(畜力用)	商標	Ⓢ	產地	長崎縣 福岡縣 大分縣	住出品所	長崎縣東彼杵郡川棚町 福岡縣嘉穂郡大分村 大分縣直入郡竹田町	氏名	森田牧四郎 大久保藤市 森進
----	----------------------------------	----	---	----	-------------------	------	--------------------------------------	----	----------------------

品名		商標		產地		住出品所		氏名	
品名		商標		產地		住出品所		氏名	
品名		商標		產地		住出品所		氏名	
品名		商標		產地		住出品所		氏名	
品名		商標		產地		住出品所		氏名	

第二 審査官復命

第一部 種牛

主任 審査官 畜産試験場技師 羽部 義孝

同 農林技師 田口 教一

種牛ノ出品ハ總頭數百頭内役肉用種九十頭・乳用種十頭ニシテ出品人員百人ナリ 之ヲ縣別・種類別・性別ニ表示シ更ニ前回ト對比スレバ左ノ如シ(括弧内ハ前回ノ成績ヲ示ス)

縣別	種類別		計	壯	牝	計	壯	牝	計	合計
	性別	種類別								
長崎	三	一	四	一	二	三	一	五	一	四
佐賀	七	六	一三	七	六	一三	五	五	一〇	二〇
福岡	七	四	一	二	八	一〇	三	五	三	一五
合計	一七	一〇	二七	一〇	一六	二六	九	一五	二四	五〇

計	鹿兒島	宮崎	大分	熊本
(三七)	(六五)	(三)	(二二)	(九八)
(五三)	(九八)	(二〇)	(八八)	(五六)
(九〇)	(一五)	(二二)	(三〇)	(四四)
(三三)	(一)	(一)	(一)	(一)
(七七)	(二)	(一)	(一)	(一)
(一〇)	(一)	(一)	(一)	(一)
(一〇〇)	(一五)	(二)	(三〇)	(一四)

次ニ出品牛ニ關スル概評ヲ述ブベシ

一、役 肉 用 種

役肉用種ニ屬スルモノハ牡三十四頭・牝五十六頭・計九十頭ニシテ前回ニ比シ體型・資質共ニ向上
 進步セリ 即チ一般ニ體軀緊實シ中軀ノ張り宜シク後軀ノ幅並傾斜改善セラレ蹄形宜シクシテ各縣ノ
 出陳齊一セラレタリト雖尙品位ヲ缺クモノ、毛色黒キニ過グルモノ、過肥ニ陥レルモノ、腕ノ位置不
 良ナルモノ、角・蹄・被毛ノ資質宜シカラザルモノ、繫不良ニシテ歩様不確實ナルモノ等アルヲ遺憾
 トス 將來宜シク標準體型並審査標準ノ設定・活用ト登録事業ノ實施トニヨリテ産牛經濟ノ向上ヲ期
 スル事緊要ナリト認ム

福岡縣ノ出品ハ牡五頭・牝七頭・計十二頭ニシテ概ネ體積ニ富ミ體軀能ク伸暢シ毛色亦嗜好ニ適ス
 ルト雖モ過肥ニ陥レルモノ、後軀不良ナルモノ、品位ヲ缺クモノ等アルヲ憾ム

佐賀縣ノ出品ハ牡一頭・牝六頭・計七頭ニシテ中軀ノ張り及肉附狀態ハ概シテ宜シキモ後軀不良ノ
 モノ多シ

長崎縣ノ出品ハ牡三頭・牝九頭・計十二頭ニシテ牝ハ體型・資質共ニ能ク整一シ乳器亦佳良ニシテ
 後軀ノ幅並傾斜ノ狀態宜シク一段ノ進步ヲ示セルハ賞スベシト雖猶胸幅ノ不足セルモノ、尾根部不良
 ノモノ等アリ、牝ニ於テハ體軀緊實ヲ缺クモノ、品位ニ乏シキモノ等アリテ一般ニ其ノ資質牝ニ及バ
 ザルヲ遺憾トス

熊本縣ノ出品ハ牡八頭・牝六頭・計十四頭ニシテ同縣天草郡ヨリノ出陳ニ係ル牝二頭ヲ除ク外ハ悉
 ク赤毛ノ改良和種ニシテ前回ニ比シ毛色體型整一シ來レルモ尙概シテ體軀ノ伸暢充分ナラズ肩部重厚
 ニシテ骨太ク被毛粗剛ナリ

大分縣ノ出品ハ牡十二頭・牝八頭・計二十頭ニシテ牡ハ體軀均稱ヲ得肉附狀態宜シク蹄形良好ニシ
 テ相當優良ノモノアルモ猶品位ニ乏シキモノ、薦骨・尾根部ニ缺點ヲ有スルモノ、前肢ノ負重過重ナ
 ルモノ、歩様不確實ナルモノアリ、牝ニアリテハ優良ノモノ少ク即チ皮膚厚ク被毛粗剛ナルモノ、背
 線直ナラザルモノ、腰部纖弱ナルモノ、毛色黒キニ過グルモノ等アリ斯クノ如ク牝ノ資質牡ニ伴ハザ

出品縣	出品番號	年齡(月)	體高	十字部高	胸圍	胸深	胸幅	管圍	腰角幅	腕幅	坐骨幅	體長	尻長	備考
佐賀	五	三	一三六・一	一四〇・一	一八二・三	六八・七	四〇・三	一八・二	五四・〇	五一・四	三五・三	一六三・七	五三・一	三等賞一六席
佐賀	四	三	一四〇・六	一四三・八	一九三・三	七二・四	四五・二	一八・二	五六・二	五四・五	三九・五	一六五・七	五五・三	

ホルスタイン種 牝

出品縣	出品番號	年齡(月)	體高	十字部高	胸圍	胸深	胸幅	管圍	腰角幅	腕幅	坐骨幅	體長	尻長	備考
福岡	七二	四〇												四等賞
福岡	七三	二七												同
福岡	七四	四三												同

ホルスタイン種 牡

出品縣	出品番號	年齡(月)	體高	十字部高	胸圍	胸深	胸幅	管圍	腰角幅	腕幅	坐骨幅	體長	尻長	備考
同	三七	二六	一四二・一	一五二・二	一七三・六	六一・四	四四・五	一六・六	四八・一	四二・五	二七・〇	一四六・〇	四九・二	
同	三八	二六	一三三・二	一三三・九	一八七・三	六六・一	四六・一	一六・三	四七・二	四二・七	二六・六	一四九・六	四九・三	
同	三九	二六	一二二・二	一二三・五	一九〇・三	六八・五	四七・二	一六・五	五〇・九	四三・五	三一・〇	一四六・六	五〇・五	四等賞
同	四〇	二二	一二四・〇	一二四・八	一八〇・八	六四・六	四六・〇	一六・九	四七・一	四四・三	二七・二	一四六・五	四八・一	

出品縣	出品番號	年齡(月)	體高	十字部高	胸圍	胸深	胸幅	管圍	腰角幅	腕幅	坐骨幅	體長	尻長	備考
鹿兒島	三	二五	一二七・一	一二〇・四	一六九・九	六二・二	四四・四	一七・二	四四・六	四二・二	二五・九	一三八・七	四六・四	四等賞
鹿兒島	九	二四	一二二・四	一二五・六	一七八・三	六六・二	四二・八	一七・五	四八・八	四二・一	二八・五	一四九・四	五〇・二	三等賞八席
鹿兒島	九	二二	一一五・八	一二一・三	一六五・七	六六・六	三八・〇	一六・三	四二・二	四〇・八	二六・八	一三五・二	四四・三	
鹿兒島	九	二二	一二〇・三	一二二・三	一六六・〇	六六・三	三八・三	一六・五	四四・六	四三・〇	二八・七	一四二・六	四七・二	
鹿兒島	九	二〇	一一八・八	一二一・二	一六七・三	六六・三	四〇・〇	一六・七	四五・六	四三・〇	二七・五	一三八・二	四七・七	
鹿兒島	九	一九	一一五・六	一二九・七	一六八・五	六六・七	三八・〇	一六・六	四四・〇	四〇・七	二六・〇	一三四・一	四四・六	
鹿兒島	九	一九	一一七・四	一二九・六	一六六・〇	六〇・五	三九・七	一六・四	四三・一	四〇・六	二七・五	一四二・二	四六・三	四等賞
鹿兒島	九	一九	一一四・九	一二八・二	一六六・一	六〇・一	三八・五	一六・七	四〇・六	四一・五	二六・〇	一三四・一	四五・六	
鹿兒島	九	一八	一一三・四	一二九・〇	一六九・〇	六〇・〇	三八・五	一六・四	四四・五	四〇・八	二五・五	一三五・九	四五・八	二等賞八席
鹿兒島	九	一八	一一五・五	一二〇・一	一六九・四	六〇・五	三八・五	一六・三	四四・八	四一・〇	二七・一	一四二・二	四六・〇	同
宮崎	九	一八	一一八・〇	一二九・九	一六八・三	六二・七	三八・八	一六・九	四三・八	四一・四	二七・六	一三五・六	四三・五	四等賞
宮崎	二〇	三三	一二五・六	一二六・九	一六九・三	六三・四	三九・五	一七・八	四四・二	四二・七	二八・六	一四五・五	四七・七	三等賞四席
宮崎	一九	二七	一二四・五	一二六・〇	一七〇・九	六三・二	四〇・三	一八・五	四四・五	四三・二	三〇・〇	一四八・五	四八・四	三等賞三席
宮崎	一八	二二	一二三・三	一二六・〇	一七〇・一	六三・七	三八・七	一七・八	四四・二	四三・三	三〇・六	一四七・七	四七・七	三等賞三席

附一 出品馬測定比較表

馬		輕		乘		役種
六歲	五歲	四歲	三歲	四歲	三歲	年齡
牝	牝	平均	平均	牝	平均	性
	九	二四	三一	八	一三	頭數
	五〇五	五〇八	五〇〇	五〇一	五〇七	體高
	六〇一	六〇六	五九三	五七四	五六八	胸圍
	〇・六三	〇・六三	〇・六六	〇・五九	〇・六〇	管圍
	一一九〇	一二九三	一二八六	一二四六	一二二〇	胸圍率
一	四	一九	三	四	一〇	頭數
四・九二	四・九五	五〇〇	四・九九	五〇一	四・八七	體高
五・九八	六〇九	六〇三	六〇〇	五八二	五五八	胸圍
〇・六一	〇・六三	〇・六三	〇・六三	〇・六〇	〇・五八	管圍
一一・三	一一・三九	一一・〇五	一一・〇三	一一・五九	一一・五〇	胸圍率
一一・五	一一・七	一一・六	一一・六	一一・九	一一・九	管圍率

附一 出品馬縣別測定表

馬		乘		役種
佐	福	計	鹿	宮
賀	岡	及平均	兒島	崎
五	四	四	四	三
三	三	三	三	三
牝	牝	牝	牝	牝
一	一	一	一	一
四・八一	五・一〇	四・八七	四・九五	四・九四
五・八三	五・九〇	五・五八	五・六五	五・六〇
〇・六〇	〇・六三	〇・五八	〇・五九	〇・五九
一一・三	一一・三	一一・五	一一・四	一一・三
一一・五	一一・七	一一・九	一一・九	一一・八

乘	役種	審番	審號	出品縣	年齡	性	體高	胸圍	管圍	胸圍率	管圍率	備考
九	鹿	同	同	鹿兒島	四	牝	四・八〇	五・六一	〇・五八	一二三・〇	一一八	二等賞二席
八	鹿	同	同	鹿兒島	同	牝	四・九一	五・五五	〇・五八	一二四・〇	一一八	三等賞三席
七	鹿	同	同	鹿兒島	同	牝	四・七五	五・四九	〇・五六	一二五・六	一一八	二等賞二席
六	鹿	同	同	鹿兒島	同	牝	四・八〇	五・五一	〇・五六	一二四・八	一二七	三等賞一席
五	鹿	同	同	鹿兒島	同	牝	四・八一	五・四五	〇・五八	一二七・五	一二二	三等賞一席
四	鹿	同	同	鹿兒島	同	牝	四・八五	五・六〇	〇・五八	一二五・五	一二〇	三等賞一席
三	鹿	同	同	鹿兒島	同	牝	四・八四	五・三五	〇・五七	一二〇・五	一二八	四等賞
二	鹿	同	同	鹿兒島	同	牝	四・八一	五・六〇	〇・五八	一二七・五	一二〇	三等賞一席
一	鹿	同	同	鹿兒島	同	牝	四・八一	五・六〇	〇・五八	一二七・五	一二〇	三等賞一席

附三 出品馬個體測定表

計及平均	體高	胸圍	管圍	胸圍率	管圍率	備考
計平均	四・八〇	五・五五	〇・五六	一二三・〇	一一八	二等賞二席
計平均	四・九一	五・五五	〇・五六	一二四・〇	一一八	三等賞三席
計平均	四・七五	五・四九	〇・五六	一二五・六	一一八	二等賞二席
計平均	四・八〇	五・五一	〇・五六	一二四・八	一二七	三等賞一席
計平均	四・八一	五・四五	〇・五八	一二七・五	一二二	三等賞一席
計平均	四・八五	五・六〇	〇・五八	一二五・五	一二〇	三等賞一席
計平均	四・八四	五・三五	〇・五七	一二〇・五	一二八	四等賞
計平均	四・八一	五・六〇	〇・五八	一二七・五	一二〇	三等賞一席
計平均	四・八一	五・六〇	〇・五八	一二七・五	一二〇	三等賞一席

馬	鹿兒島	宮崎	大分	熊本	長崎	輕
三	五	四	三	四	三	三
壯	牝	牝	牝	牝	牝	牝
三	一	一	二	四	二	一
五・一〇	五・〇五	五・〇四	五・一二	四・九四	四・八六	四・九三
五・九〇	六・一四	五・九七	五・八六	五・九六	五・七六	五・七八
〇・六六	〇・六二	〇・六二	〇・六四	〇・六三	〇・六三	〇・六五
一一五・八	一二二・六	一一八・五	一二四・五	一二〇・八	一二八・六	一二七・二
一二三・九	一二三・三	一二三・三	一二四・四	一二七・七	一二九・九	一二三・二

更ニ之ヲ縣別ニ概評スレバ

福岡縣ノ出品ハ體型概ネ良好ニシテ挽曳成績亦佳良ナリ

佐賀縣ノ出品ハ挽曳良好ナルモ體型稍區々ニシテ使役管理ノ失宜ニ因ル損徴失格ヲ有スルモノ尠カ

ラズ

長崎縣ノ出品ハ體型概ネ可ナルモ四肢ノ堅實味ヲ缺キ挽曳能力充分ナラズ

熊本縣ノ出品ハ體型・資質及挽曳能力共ニ優秀ナリ

大分縣ノ出品ハ體型稍菲薄ニシテ挽曳狀態充分ナラズ

宮崎縣ノ出品ハ堅實味ヲ有シ挽曳亦可ナリ

鹿兒島縣ノ出品ハ挽曳成績可ナルモ體型整一ナラズ

農馬ニ在リテハ體型・資質概ネ良好ニシテ之ガ選擇ニ苦心ノ跡ヲ認ムルモ稍輕格ニ失シ四肢軟弱ナ

ルモノアリ、耕耘並挽曳ハ本邦馬利用先進地タルノ名ニ背カズ豫期以上ノ成績ヲ收メタルモ使役管理

ノ失宜ニ因ル損徴ノ爲天賦ノ能力ヲ發揮シ得ザルモノアリ

更ニ之ヲ縣別ニ概評スレバ

福岡縣ノ品ハ體型・資質良好ニシテ耕耘・挽曳共ニ拔群ノモノアリ

佐賀縣ノ出品ハ體型地低ク整一ニシテ耕耘・挽曳ニ相當ノ成績ヲ示シタルモ尙馴致調教ニ改善ノ餘

地アリ

熊本縣ノ出品ハ體型・資質佳良ニシテ能力亦良好ナリ

大分縣ノ出品ハ體型及耕耘共ニ可ナルモ尙挽曳能力ノ向上ニ努ムル要アリ

宮崎・鹿兒島兩縣ノ出品ハ挽曳作業ニ相當ノ成績ヲ示シタルモ馬ノ選擇並耕耘ニ一段ノ工夫ヲ要ス

之ヲ要スルニ役馬ノ選定ニ當リテハ尙一層ノ研鑽ヲ重ネ飼養管理ノ完璧ヲ期スルト共ニ合理的使役

ニ依リ天賦ノ性能ヲ發揮セシメ以テ役馬利用ノ効果ヲ増進スル要アリ

附一 縣別・種類別・性別出品點數表

縣別	種類別	國內產		西洋種		ギドラン雜種		アンダマン雜種		雜種		計
		牝	牝計	牝	牝計	牝	牝計	牝	牝計	牝	牝計	
福岡	農馬											
佐賀	農馬											
長崎	農馬											
熊本	農馬											
計												

種別		輓											
縣		總數		福岡		佐賀		長崎		熊本		大分	
性		牝		牝		牝		牝		牝		牝	
頭數		一六		四四		四四		一一		一一		一一	
體高		五・一六		五・一七		五・一七		五・一八		五・一三		五・一四	
胸圍		六・二〇		六・二一		六・二一		六・二〇		六・一六		六・一六	
管圍		〇・六五		〇・六六		〇・六六		〇・六五		〇・六六		〇・六六	
體高ニ對スル百分率		一一三・一		一一三・一		一一三・一		一一三・一		一一三・一		一一三・一	
胸圍		一一三・一		一一三・一		一一三・一		一一三・一		一一三・一		一一三・一	
管圍		一一三・一		一一三・一		一一三・一		一一三・一		一一三・一		一一三・一	

一三七

附五 縣別・性別・馬體測定表

備考 審査番號一號乃至二〇號ハ輓馬、二一號以下ハ農馬トス

種別	縣	性	頭數	體高	胸圍	管圍	體高ニ對スル百分率
元入	江	リ	同	四・九五	五・八八	〇・六〇	一一三・一
三榮	光	光	同	四・八五	五・九三	〇・五九	一一三・一
三郡	司	菊	四	四・八〇	五・六七	〇・六二	一一三・一
三隆	花	一	同	四・九〇	六・〇七	〇・六三	一一三・九
三初	青	菊	同	四・八〇	五・九三	〇・六〇	一一二・一
三第	榮	武	五	四・九一	六・〇九	〇・六一	一一四・〇
三青	柳	五	同	四・八一	五・七九	〇・六三	一一九・〇
三昭	龍	武	六	四・八一	五・七九	〇・六一	一一〇・四
三幸	榮	繁	同	四・七三	五・七〇	〇・六二	一一三・一
四第	影	繁	八	四・七四	五・九六	〇・六〇	一一五・七

一三六

種別	出品	附六	馬
番號	審査		
二四・三	體型	得	鹿兒島 宮崎 大分 熊本
七・七	管理		
	調教	點	牝 騾 總數及平均 牝 騾 總數及平均 牝 騾 總數及平均 牝 騾 總數及平均
	耕		
	狀態	表	二 二 二 二 二 二 三 三
	時間		
	餘力	計	四・八二 四・八一 四・八一 四・八一 四・八一 四・八一 四・九〇 四・九〇
	計		
一三・九	調教	力	五・七八 五・七八 五・八五 五・八五 五・七九 五・七九 六・〇三 六・〇三
一六・九	狀態		
三・〇	時間	曳	〇・五九 〇・五九 〇・五九 〇・五九 〇・六一 〇・六一 〇・六一 〇・六一
一七・八	餘力		
五〇・六	計	合計	一一九・八 一一九・八 一一一・五 一一一・五 一一〇・五 一一〇・五 一二三・〇 一二三・〇
八二・六	計		
	備	考	一二三 一二三 一二三 一二三 一二六 一二六 一二五 一二五
	考		

農				馬			
長崎	佐賀	福岡	總數	鹿兒島	宮崎		
牝 騾	牝 騾	牝 騾	牝 騾	牝 騾	牝 騾	牝 騾	牝 騾
總數及平均	總數及平均	總數及平均	總數及平均	總數及平均	總數及平均	總數及平均	總數及平均
	三 一 四	一 六 七	一 九 〇	二 二 一	三 四		
	四・八〇	四・八八	四・八二	四・七四	四・九三	四・九一	四・八二
	四・八〇	四・八八	四・八二	四・七四	四・九三	四・九一	四・八二
	五・八一	五・八六	五・八二	五・九一	五・九一	五・八九	五・八八
	〇・六〇	〇・六三	〇・六一	〇・六一	〇・六一	〇・六一	〇・六一
	一二三・三	一二〇・一	一二〇・九	一二五・七	一二〇・五	一二三・〇	一二九・八
	一二五	一二九	一二六	一二七	一二三	一二四	一二四

第四部 種 緬 羊

審査官 種羊場技師 岡 本 正 行

種緬羊ハ出品頭數三十頭其ノ出品人員三十名ニシテ之ヲ縣別・種類別・性別ニ示シ更ニ前回ト對比スレバ左ノ如シ(括弧内ハ前回ノ成績ヲ示ス)

縣 別	種 類 別	性別	福	佐	長	熊	大
			岡	賀	崎	本	分
種	ラム	牝	1	1	1	1	1
種	ブ	牝	1	1	1	1	1
種	ノ	牝	1	1	1	1	1
種	イ	牝	1	1	1	1	1
計			4	4	4	4	4
種	濠	牝	1	1	1	1	1
種	洲	牝	1	1	1	1	1
種	メ	牝	1	1	1	1	1
計			3	3	3	3	3
種	コ	牝	1	1	1	1	1
種	リ	牝	1	1	1	1	1
種	ル	牝	1	1	1	1	1
種	デ	牝	1	1	1	1	1
計			4	4	4	4	4
種	雜	牝	1	1	1	1	1
種		牝	1	1	1	1	1
計			2	2	2	2	2
合計			11	11	11	11	11

鹿 兒 島	宮 崎	計	福	佐	長	熊	大
			岡	賀	崎	本	分
種	ラム	牝	1	1	1	1	1
種	ブ	牝	1	1	1	1	1
種	ノ	牝	1	1	1	1	1
種	イ	牝	1	1	1	1	1
計			4	4	4	4	4
種	濠	牝	1	1	1	1	1
種	洲	牝	1	1	1	1	1
種	メ	牝	1	1	1	1	1
計			3	3	3	3	3
種	コ	牝	1	1	1	1	1
種	リ	牝	1	1	1	1	1
種	ル	牝	1	1	1	1	1
種	デ	牝	1	1	1	1	1
計			4	4	4	4	4
種	雜	牝	1	1	1	1	1
種		牝	1	1	1	1	1
計			2	2	2	2	2
合計			11	11	11	11	11

今出品種緬羊ニ就キ概評ヲ試ミムニ種類ハ僅ニ一頭ノ雜種ヲ除ク外總テラムブーイエメリノ種及コリーデル種ニ統一セラレ生産ハ六頭ノ地方種畜場生産ノ外總テ民間生産ニ係リ體型・資質ハ前回ニ比シ一般ニ進歩向上シ各縣ノ間ニ著シキ優劣ノ差無ク被毛及肢蹄ノ管理又概ネ良好ニシテ瞭ニ斯業進展ノ跡窺知セラレ寔ニ欣快ニ堪エザル處ナリ雖然猶發育不良ニシテ體軀矮小ナルモノ、種類ノ特徴ヲ具備セザルモノ、飼養管理ノ失宜ニヨリ後軀被毛ノ汚染セルモノ或ハヨークノ分泌適當ナラザルモノ過肥ニ陥リ種畜トシテノ價値ヲ減少セルモノ等アルハ斯業ノ發展上恟ニ遺憾トスル處ナルヲ以テ將來仔緬羊ノ育成・種畜ノ選擇・被毛ノ管理・粗糲ノ給與・運動ノ勵行等ニ留意シテ速ニ之ガ改善セラレム事ヲ切望ス

更ニ之ヲ縣別ニ批評スレバ

福岡縣ノ出品ハコリーデル種牝二頭ニシテ熊本縣ノ生産ニ係リ運動不足ノ結果體軀並四肢弛緩シ

歩様不確實ナル缺點アリ
 佐賀縣ノ出品ハラムブーイエメリノ種牝一頭・コリーデル種牝一頭計二頭ニシテラムブーイエメリノ種ハ體軀矮小コリーデル種ハ種類ノ特徴ヲ缺キテ他縣ノ出品ニ比シ稍遜色ヲ見タリ

長崎縣ノ出品ハコリーデル種牝一頭・同種牝三頭・計四頭ニシテ前回ニ比シ體型・資質共ニ向上シ斯業ノ著シキ進歩ノ跡ヲ窺知スルヲ得タリト雖一般ニヨークノ適量ヲ缺キ羊毛離脱シ易キ傾アルハ注意スベキ點ナリ

熊本縣ノ出品ハコリーデル種牝一頭・同種牝十頭・計十一頭ニシテ體型概ネ整備シ被毛及肢蹄ノ管理良好ニシテ九州地方ニ於ケル綿羊飼育先進地ノ名ヲ恥シメザルモノアリタリト雖之ヲ精査スルニ種畜トシテ過肥ナルモノ、羊毛ノ離脱容易ナルモノ等アリタルハ其ノ缺點トスル處ナリ

大分縣ノ出品ハ僅ニコリーデル種牝一頭ニシテ體幅ト牡相ヲ缺キ同縣ノ出品トシテハ甚ダ寂莫ノ感アリ

宮崎縣ノ出品ハラムブーイエメリノ種牝二頭・同種牝一頭、コリーデル種牝二頭・同種牝一頭・計六頭ニシテ中二頭ハ民間生産他ハ總テ同縣種畜場ヨリノ拂下ニ係リ一般ニ體積豐ナラザルノミナラズ毛脚短ク被毛ノ管理不充分ニシテ特ニ臀部ノ汚染セルモノ多ク又下肢ニ黒色斑點アルモノ等アルハ同縣綿羊飼育ノ由來ニ鑑ミ甚ダ遺憾トスル處ナルヲ以テ今後一層飼育ノ普及ト飼養管理ノ改善ニ奮起

セラレン事ヲ望ム

鹿兒島縣ノ出品ハラムブーイエメリノ種牝二頭・同種牝一頭・雜種牝一頭・計四頭ニシテ前回ニ比シ概シテ體型整備シタレドモ一般ニ粗野ニシテ資質良好ナラザルノ憾アルヲ以テ之ガ改善ニ一段ノ努力ヲ切望シテ止マズ

右審査ノ結果一等賞一點・二等賞三點・三等賞六點・四等賞五點・計十五點ヲ選抜擬賞セシガ今之ヲ地方別出品點數・出品人員並擬賞等級及出品人員ニ對スル擬賞歩合ヲ表示スレバ左ノ如シ(括弧内ハ前回ノ成績ヲ示ス)

出品縣	擬賞等級					出品人員ニ對スル擬賞歩合
	點數	人員	一等	二等	三等	
福岡	三二	三二	一	一	一	五〇
佐賀	三二	三二	一	一	一	五〇
長崎	六四	六四	一	一	一	三三
熊本	三二	三二	一	一	一	六四
計	一八七	一八七	五	五	五	七三

出品縣	出品		擬賞等級	計	出品人員ニ對スル擬賞歩合
	點數	人員			
福岡	105	105	1	34	40.0
佐賀	84	84	1	5	6.3
長崎	45	45	1	3	6.0
熊本	33	33	1	1	3.0
大分	44	44	1	1	2.3
宮崎	77	77	1	2	2.5
鹿兒島	133	133	1	9	6.8
計	500	500	1	50	50.0

今回ノ出品ヲ前回ニ比スルニ稍進歩ノ跡ヲ示シ特ニ劣品ノ尠カリシハ洵ニ欣快ニ堪エザル所ナレドモ之ヲ詳ニ鑑査スレバ尙改良ヲ要スル點尠シトセズ即チ兩種ヲ通ジテ種豚トシテノ活力ニ乏シキモノ、過肥ヲ懼レテ却ツテ體ノ發育ヲ抑制シタルモノ、體側ニ皺襞ヲ存スルモノ、四肢纖細ニ失シテ虛弱ナルモノ、又ハ著シク斜尻ナルモノ、乳頭ノ配置及發育宜シカラザルモノ或ハ特ニ腫瘍・傷痕ノ爲出品ニ適セザルモノ等アリ

更ニ種類別ニ檢討スレバヨークシャー種ニ在リテハ肥膾ニ過ギテ種畜タルノ價值ヲ疑ハシムルモノ腹部捲縮シテ體軀ノ深サ不足セルモノ、顔面ノ過短ナルモノ、稍凹背ナルモノ或ハ皮膚ニ著シキ斑紋ヲ有スルモノ、牡豚ニシテ牡相ニ乏シキモノ等アリ、又パークシャー種ニ在リテハ顔面過長ナルモノ後肢ノ姿勢不整ニシテ歩様不確實ナルモノ或ハ尾ノ不良ナルモノ等アリ
 惟フニ九州地方ハ養豚經營上極メテ重要ナル地位ニアルノ實狀ニ鑑ミ將來種豚ノ選擇ニ當リテハ能ク種類ノ特徴ヲ重ンズルト共ニ特ニ育成期ニ於テ飼養管理ノ合理化ニ努メテ資質ノ向上ヲ圖リ以テ彌々農村ノ經濟更生ニ寄與セムコトヲ望ム

第六部 種 鷄

第六部種鷄ノ出品ハ單冠白色レグホーン種四十九點・橫斑ブリマスロツク種十八點・名古屋種二十點・改良地方種七點・計百點ニシテ之ヲ地方別・種類別ニ表示スレバ左ノ如シ(括弧内ハ前回ノ成績ヲ示ス)

縣別	種類別	鹿兒島							計
		福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿兒島	
單冠白色	レグホー	(二一)	(二一)	(二一)	(二一)	(二一)	(二一)	(二一)	(二一)
横斑ブリ	マスロツ	(二)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)
單冠ロッド	アイランド	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)
名古屋種		(三六)	(三六)	(三六)	(三六)	(三六)	(三六)	(三六)	(三六)
改良地方種	(三河種)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)
改良地方種	(熊本種)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)
合計		(二一)	(二一)	(二一)	(二一)	(二一)	(二一)	(二一)	(二一)

右出品ニ付精査ノ結果一等賞一點・二等賞八點・三等賞十八點・四等賞二十三點・計五十點ヲ選抜擬賞セリ 今之ヲ地方別ニ表示スレバ左ノ如シ (括弧内ハ前回ノ成績ヲ示ス)

審査ノ結果ニ基キ概評ヲ試ルニ前回ニ比シ多少ノ進境ヲ認ムルモ尙些細ニ觀察スレバ更ニ改善考究ヲ要スルノ餘地尠ナカラザルモノアリ

出品縣	出品	鹿兒島							計
		福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿兒島	
點數		(二一)	(二一)	(二一)	(二一)	(二一)	(二一)	(二一)	(二一)
人員		(二一)	(二一)	(二一)	(二一)	(二一)	(二一)	(二一)	(二一)
擬賞		(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)
等級		(七五)	(七五)	(七五)	(七五)	(七五)	(七五)	(七五)	(七五)
計		(二一)	(二一)	(二一)	(二一)	(二一)	(二一)	(二一)	(二一)
出品人員ニ對スル擬賞歩合		(七三)	(七三)	(七三)	(七三)	(七三)	(七三)	(七三)	(七三)

品名	出品縣	比重(攝氏二〇度)	酸度(乳酸トシテ)
オービス	大分	一・二八〇	一・二三四
カービス	福岡	一・三三〇	一・四一三
セービス	熊本	一・三六〇	一・四三二

蜂蜜ニ在リテハ概シテ良品少ク色澤著シク濃キモノ、調製不充分ナルモノ、濃度稀薄ナルモノアリ此等ニ就キ比重及酸度ヲ檢定セル結果ヲ示セバ左ノ如シ

檢定番號	出品縣	比重(攝氏十五度)	酸度(蟻酸トシテ)
一	鹿兒島	一・四〇三	〇・七三(重量%)
二	佐賀	一・四三一	〇・四五(同)
三	熊本	一・三九七	〇・八九(同)
四	同	一・四三二	〇・八四(同)

肉製品ハ出品點數最モ多ク進歩ノ蹟顯著ナリト雖尙燻肉製品ニ在リテハ鹽漬並燻烟充分ナラズポー
ンレスハムノ如キハ調製方法ニ於テ更ニ研究ノ餘地アリ色澤風味亦不良ナルモノ尠カラズ、鶏肉及豚

肉ノ罐詰ハ材料ノ選擇調製方法ニ於テ更ニ工夫ノ要アリ、鹽豚ハ再度ノ出品ナルモ製法簡易貯藏ニ堪
ヘ農家ノ副業的製品トシテ適切ナル可ク品質モ亦向上セリ 之ヲ要スルニ畜産製造品ノ出品ハ概ネ向
上セリト雖現下農家生産物ノ消費問題ニ多大ノ關心ヲ拂ハルルノ秋ニ當リ更ニ研鑽ヲ重ネテ益優良製
品ノ作出ヲ期セザル可カラズ

第八部 畜産ニ關係アル農具及器具機械

審査官 農林技師 小林正一郎

本會ニ於ケル畜産ニ關係アル農具及器具機械ノ出品ハ計二十四點ニシテ福岡縣ノ十一點ヲ最多トシ
熊本縣ノ六點之ニ次ギ宮崎・鹿兒島兩縣ハ各二點、佐賀・長崎・大分ノ三縣ハ各一點宛ナリ 之ヲ種
類別及縣別ニ表示スレバ左ノ如シ(括弧内ハ前回ノ成績ヲ示ス)

縣別	種別	福岡	佐賀	長崎
犁	碎土器	〇	〇	〇
作溝機	中耕機	〇	〇	〇
培土機	役用鞍	〇	〇	〇
乘馬具	首環	〇	〇	〇
乘用馬車	畜力原動機	〇	〇	〇
稻拔作業機	製粉機	〇	〇	〇
製繩機	其他	〇	〇	〇
計		11	6	6

節難澁ナルモノアルヲ見ルト共ニ其ノ鑄造ニ依ルモノハ粗材料ノ選擇・配合ニ注意ヲ缺ギ製品破面ノ粒子均齊ナラズシテ折損又ハ磨耗ヲ生ジ易シト認メラルルモノ、鍛工ニ依ルモノハ鍛冶技術特ニ熱處理法ノ適當ナラザルガ爲硬度充分ナラザルカ或ハ脆弱ナリト認メラルルモノ等アリ製作者ハ須ラク金屬材料ニ關スル基礎知識ヲ涵養シ之ヲ實地ニ應用シテ製品ノ完璧ヲ期セザルベカラズ

鋤ニ在リテハ曲面ノ形狀妥當ヲ缺ギ土壠ノ反轉・投擲充分ナラザルモノ又ハ徒ラニ土壠ノ反轉ニ重點ヲ置キテ其ノ作用過度ニ失シ横推分力ノミ増大シテ安定ヲ失シ犁ノ實地使用ニ著シク困難ヲ感ズルモノアリ

犁底ニ在リテハ之ニ設ケタル犁ノ行進方向ノ突條又ハ類似ノ安定裝置ニ工夫ヲ凝ラシアレドモ尙其ノ形狀・大サ・位置等ニ關スル注意不充分ナルノミナラズ其ノ磨損ニ對スル考慮足ラザルモノアルヲ以テ一層改善ヲ要スルモノト謂フベシ

犁轆ニ在リテハ之ガ餘リニ短小ニ失シタルガ爲犁抵抗力ノ作用點ノ所在正鵠ヲ得ズシテ其ノ使用困難ナルモノアリ

犁ノ方向調節裝置ニ在リテハ其ノ上下調節ニ對シテハ特ニ注意ヲ喚起スルノ要少シト雖左右調節ニ於テハ實效ヲ忘レテ殊更ニ考案ノ新規ヲ街ヒ却ツテ蛇足ニ陷レルモノアルハ遺憾トスル所ナリ

(二) 碎土器

碎土器ノ出品ハ平起シ用ノモノ一點ニシテ特ニ論議ノ要ナキモ畦ノ碎土作業一般ニ行ハル九州地方ニ於テ畦用碎土器ノ出品一點モナカリシハ全ク豫期ニ反スル所タリ將來留意スベキ點ナリト謂フベシ

(三) 作溝型又ハ整畦型

此種ノ犁ハ最近工夫製作セラレタルモノニシテ尙發達ノ途上ニアリト謂フモ得ベク畦立テ耕起ヲ行フ地方ニ於テハ其ノ整畦ハ時期ノ關係ヨリ考慮スルモ農繁期ニ際會スルモノナルヲ以テ之ガ合理的使用ハ能率増進上將又勞力節約上寄與スル所尠シトセズ而シテ出品物ハ整畦作業上概ネ所期ノ目的ヲ達成シ得ルモ尙畦ノ肩部ヲ整フルニ不充分ナルノミナラズ兩翼ノ形狀・大サ並廣狹調節ニ缺陷アルヲ以テ一層ノ研究ヲ要ス

(四) 畜力原動機

畜力原動機ノ出品ハ一點ニシテ其ノ考案ニハ多少見ルベキモノアリ即チ機體低ク動搖少クシテ分解・組立容易ニ行ハレ移動ニ便ナリ然レドモ家畜ノ牽引點ノ不適當ナルト傳導綱ノ牽引力調節裝置ノ原始的ナルトハ本機ノ尙完成ノ域ニ達セザルコトヲ明示スルモノニシテ今後ノ研究ニ俟ツベキモノ多キヲ思ハシム

(五) 播種機

畦溝ヲ走行スル双輪式ノモノ一點ニシテ家畜ノ牽引ニヨリ穴附ロールノ回轉スルニ伴ヒ種子槽ノ底部ヨリ適當量ノ種子ヲ畦上ニ二條ニ播種スル様工夫セラレタルモノナレドモ各部ノ構造作用未ダ實用ニ適スルニ至ラザルノ憾ミアリ

以上ノ外既ニ表示シタルガ如ク諸種ノ出品アリタレドモ何レモ茲ニ特筆ヲ要セザルモノノミナリキ而シテ今回ハ前回ニ比シ其ノ出品點數少シト雖出品人員ハ増加ヲ示セリ 之取リモ直サズ此ノ種共進會ニ對スル一般認識ノ向上ト出品物ノ選擇ニ深キ吟味ヲ行ヒタル結果ニシテ共進會ノ回ヲ重ヌルニ從ヒ製品ニ進歩改良ノ跡歴然タルハ斯業ノ爲同慶ニ堪ヘズ出品者諸氏ノ努力苦心ニ對シ深甚ノ敬意ヲ表スルト共ニ將來益研鑽以テ斯業ノ發展ニ貢獻アランコトヲ切望シテ已マザル所ナリ

（以下は非常に淡く、ほとんど不可読な文字列が並んでいる）

全國肉用畜產博覽會

第一 審査長復命

審査長 畜産試験場技師 釘本昌二

一 會 期 自昭和十年十二月十二日 至昭和十年十二月十七日 六日間

二 會場ノ所在地 東京市芝區高濱町東京市營家畜市場

三 出品區域 全國但シ實際出品アリタルハ一道三府三十七縣トス

四 出品ノ種類別點數及人員

出品點數 三百二十七點

出品人員 二百五十七人

之ヲ出品種類別ニ表示スレバ左ノ如シ

第一部	出品ノ種類	出品點數	出品人員
肉			
牛		九三	九八

計	第二部	第三部	第四部
	肉	肉	肉
		緬	製
	豚	羊	品
	九三	四二	一〇二
	三七		
	九三	四二	一〇二
	三七		

備考 外ニ參考品トシテ農林省畜産局・畜産試験場・陸軍糧秣本廠・陸軍被服本廠・養鶏組合中央會・滿洲中央特産會等ヨリ圖譜・畜産製品・絨製品等ノ出品陳列アリタリ

五 擬賞ノ點數及人員

擬賞點數 二百十三點
擬賞人員 百九十九人
之ヲ出品種類別ニ表示スレバ左ノ如シ

出品ノ種類	擬賞點數	擬賞人員
第一部 肉	七	七
第二部 肉	七	七
第三部 肉	三	三
計	一七	一七

六 審査官及審査員ノ官職氏名並分掌

第一部	主任	審査官	農林技師	池上幸健
	同	審査員	警視廳技師	布村繁
	同	同	農林技師	田口教一
	同	同	農林技師	木下忠雄
	同	同	農林技師	石原盛衛
	同	同	畜産試験場技手	片江正己
	同	同	警視廳衛生技手	德增英三
	同	同	勳八等	德增英三

方、第三部ハ點數四十一頭其ノ出品區域十三地方、第四部ハ點數百壹點其ノ出品區域十八地方ニシテ之ヲ合スレバ出品總點數三百二十七點ノ多キニ達シ其ノ出品區域四十一地方ノ廣キニ亘レリ
 今此等出品ヲ通覽スルニ其ノ品質概シテ所期以上ニ優良ニシテ本邦ニ於ケル此ノ種畜産ノ進歩ヲ如實ニ認識スルヲ得タルハ誠ニ欣快ニ堪ヘザル所ナルト共ニ斯業ノ將來ニ對シ示唆セラルル所亦極メテ大ナルモノアリタルヲ信ズ、而シテ後進地方ハ先進地方ノ出品ニ啓發誘導セラレタル所蓋シ深甚ニシテ又地方取引事情ガ必ズシモ市場ノ眞ノ要求ト合致セザルモノアリタルヲ痛感シタルベク先進地方ハ又意外ノ地方ニ強敵ノ伏在セルヲ覺リ將來切瑳琢磨ノ要益切ナルヲ感得スルノ機ヲ得タリト謂フベシ
 以下各部ニ就キテ其ノ概評ヲ述ブベシ

第一部 肉 牛

肉牛ハ東北地方ヨリノ出品ニ係ル五頭ノシヨートホーン種系ヲ除ク外總テ改良和種ニシテ又五頭ノ去勢牛以外ハ牝牛ナリ、年齢ハ六歳ヲ越エタルモノ少ク今回出品ノ樞軸ヲナス近畿地方ノ出品ニ係ルモノハ概ネ四・五歳ナリ 出品ハ體型・資質概シテ佳良ニシテ肥膾ノ度合亦適宜ナリト雖從來ノ商習慣ニヨル格付等ニヨリ材料牛ノ選擇ニ於テモ地方的特色ノ存在スルヲ認メ得ルト共ニ其ノ品質上ニ於テモ亦地方的ニ優劣ノ格差ヲ認ムベキモノ在リタルハ蓋シ己ムヲ得ザル所ナルベシ

東北・關東地方ノモノハ概シテ大貫ニシテ前勝ノ體型ヲ有シ且又肥膾ノ度充分ナラザルモノ尠ナカラズ之等地方ニ於ケル畜牛經濟事情ニ鑑ミ徒ニ大型ノ肉牛ノ生産ニ專念スルガ如キハ將來深甚ナル省慮ヲ要スト謂ハザルベカラズ 四國・九州ノ出品牛ハ其ノ材料牛ノ選擇ニ又肥膾ノ方法ニ苦心ノ跡ヲ認ムト雖中ニ過肥ナルモノ及粗大ナルモノヲ散見セリ 中國ノ肥育地ト稱セララルモノニ一貫シタル方針ノ認ムベキモノナカリシヲ惜ム 愛知縣ヲ主トスル去勢年ノ肥育ハ畜牛經濟上誠ニ勸奨スベキモノナリト雖未ダ去勢ナル特性ニ對スル肥育方法ニ熟達セザルノ憾多シ 近畿數縣ノ出品ハ流石ニ本博覽會ノ壓卷ニシテ良ク最高級市場ノ要求ニ適合シ其ノ數ニ於テ又其ノ質ニ於テ堂々他地方ノ出品ヲ睥睨スルノ觀アルハ蓋シ多年當業者ノ研鑽努力ノ賜ニシテ誠ニ敬服ニ堪ヘザル所ナリトス、三重縣及滋賀縣ノ出品ハ仕上リ體高略四尺三寸・體重略百七十貫ヲ目標トシタルモノノ如ク兵庫縣ノ出品ハ之ヨリ稍小貫ヲ標準トシタルモノ如シ、三重縣ノ出品ハ其ノ資質良ク揃ヒ肉付充分ナルモ幅ト張りニ稍不足シ又比較的大ナルモノハ前勝ノ傾向ヲ有シタリ、滋賀縣ノ出品モ亦良ク整一シタルモ中ニ體型弛ク稍充實味ヲ缺キ又腰角大ナルモノアリ、兵庫縣ノ出品ハ資質優良殊ニ背線直ニシテ廣ク體各部ノ肉付極メテ均等ナリト雖肥膾ノ度ニ至リテハ過肥ニ陥ルヲ恐ルルノ餘リ其ノ完璧ヲ期スルニ躊躇セルノ觀アリ

外貌上優良ト認メタルモノ二十二頭ヲ屠殺解體シタル成績ニ徵スルニ步留ハ最高七割最底六割二分

九厘、其ノ算術平均六割五分五厘ニシテ肉質概ネ細緻、脂肪ノ交雜亦優良ニシテ遽カニ甲乙ヲ附シ難キモノアリタリト雖中ニ色彩ノ鮮明ナラザルモノヲ散見セリ

第二部 肉 豚

肉豚ハヨークシャー種及同種系ニ屬スルモノ大多數ヲ占メ又全數ノ三分ノ二ハ牝ニシテ其ノ他ハ閹ナリ 近時養豚業ノ普及發達ニ伴ヒ直接市場取引ニ經驗セル地方多キガ爲肉豚ニ對スル市場ノ要求ヲ良ク把握シ一定ノ方針ニ基キ出品セル地方多カリシハ洵ニ驚クベク正ニ賞讚ニ値スル事實ト謂ハザルベカラズ即チ東北・關東ノ一部ヲ除キ生後七―八ヶ月乃至九―十ヶ月ニシテ體重二十五―六貫乃至二十七―八貫ヲ目標トセルモノ多キガ如キ又肥育技術ニ鍊熟シ脂肪ノ著シク柔軟ニ失スルガ如キモノハ殆ド之ヲ見ルコト能ハズ而シテ又去勢豚ノ利用極メテ巧ナルモノ多カリシハ敬服スル所ナリ然レ共中ニハ之ニ反シ體型大・小ニ失シ肥臘ノ度亦過肥・未熟ニ過ギタルモノ及去勢豚ニシテ牡相ヲ殘セルモノヲ散見セリ

地方的ニ之ヲ見ルトキハ東京市場ヲ中心トセル隣接地方ニ尤物多シ、千葉縣ノ出品ハ能ク精選セラレ資質極メテ佳良ナルモ寧ロ肥臘未熟ノモノヲ混ヘタルヲ遺憾トス、神奈川縣ノ出品亦良ク整一シ何レモ體積ニ富ミ且去勢豚ノ仕上佳良ナルハ賞スベシト雖脂肪稍柔軟ナルノ嫌アルト共ニ去勢豚ニシテ牡相ヲ失ハザルモノアリタルヲ惜ム、群馬縣ノ出品ハ資質優良ナルモ未熟ニシテ埼玉縣ノ出品ハ閹豚ノ飼育ニ巧ナルヲ認ムルモ稍未熟ノ感アルヲ免レズ

今外貌上優良ナリト認メタルモノ十九頭ノ屠殺成績ニ徵スルトキハ其ノ枝肉量ノ歩留ハ最高七割六分一厘・最底六割九分・平均七割三分餘ニシテ一般ニ屠體ハ各部良ク充實シ脂肪沈着ノ狀態佳良ニシテ且適度ナルト共ニ其ノ筋肉内ニ於ケル交雜亦良好ナリト雖中ニ之等ノ色澤濃淡不同ノモノヲ散見セルヲ遺憾トス

第三部 肉 緬 羊

肉緬羊ハ東北及北海道ヨリノ出品其ノ根幹ヲナシ又閹三十三頭ヲ以テ其ノ最多數ヲ占ム 本邦緬羊業ノ現況ハ未ダ肉緬羊トシテノ市場標準ヲ確定スルニ到ラズ又其ノ飼育經濟ニ關スル研究及經驗ニ乏シキ爲本會出品肉緬羊ノ選定ニ關シテ當事者ノ苦心誠ニ察知スルニ難カラズ而シテ材料緬羊ノ選擇ニ就テハ各地共其ノ材料ニ乏シキ現狀ニ鑑ミテハ必シモ其ノ妥當ナラザルハ己ムヲ得ザル所ナルベシト雖肥臘ノ狀態ハ大體其ノ當ヲ得タルガ如シ然レ共其ノ仕上ノ方法・出品ノ狀態ニ到リテハ更ニ一層ノ研鑽ヲ望マザルベカラズ

東北地方ノ出品ハ他地方ニ比シ資質良好ナルノミナラズ良ク整一シ肥育方法亦比較的巧ナルハ特記

スルノ要アリ、福島縣ノ出品ハ當歲雜種ヲ利用シタルハ可ナルモ體型稍小ニ失シ肉付不足ノ觀アルヲ免レズ、山形縣ノ出品ハ概シテ低身ニシテ體幅ニ富メルモノ多ク肥臘ノ狀態亦佳良ナルモ仕上ノ方法巧ナラズ、岩手・宮城縣ノ出品ハ外貌粗野ニシテ資質宜シカラズ其ノ他ノ地方ノ出品中ニハ相當良好ナルモノヲ散見セリト雖概シテ資質不良・肥臘程度亦充分ナラザルヲ遺憾トス

今試ミニ出品緬羊ヲ當歲及二歳以上ニ分チ之ガ平均體重ヲミルニ前者七頭ノ平均十三貫六百匁、後者三十四頭ノ平均十七貫九百匁ニシテ内外貌上優良ナリト認メタルモノ十頭中當歲三頭ノ平均十二貫七百匁、二歳以上七頭ノ平均十七貫四百匁ナリ又前記十頭ヲ屠殺シタル成績ニ徴スルニ枝肉量ノ歩留ハ最高六割六分七厘・最低五割四分六厘・平均六割三厘ヲ示シ屠體ノ狀態概ネ良好ニシテ脂肪及筋纖維亦比較的佳良ナルモノ多シト雖貴重ナル背腰筋肉ノ發達ニ不足シタルモノ多カリシヲ憾ム

第四部 肉製品

肉製品ハハム類及肉罐詰類各三十餘點ヲ主トシ其ノ他ソーセイチ・ベーコン・味噌漬等之ニ亞グ 近時本邦ニ於ケル肉加工業ハ急激ニ普及發達シ其ノ製造方法亦極メテ上達セルモノアリ殊ニ豚肉製品ノ如キ農村ニ於ケル組合事業トシテ其ノ進展著シキモノアルハ洵ニ慶賀ニ堪ヘザル所ナリトス、今回ノ出品ニ付テ之ヲ觀ルモ其ノ品質優良ナルモノ多ク又本邦ニ於ケル肉製品需要ノ事情ヲ考慮シ之ガ消費

ノ増進ヲ圖ル爲其ノ製法竝大サ・包裝方法等ニ於テ種々工夫ヲ凝シタルモノ多キハ推賞ニ値スル事實ト謂フベシ然レ共之ガ爲ニ一面徒ニ製品ノ珍奇ヲ逐フモノ多キヲ加フルガ如キハ嚴ニ之ヲ戒メザルベカラズ

出品地方中神奈川縣ハ由來豚肉加工業盛ニシテ今回ノ出品ニ於テモ其ノ數最モ多キニ上リ品質亦佳良ニシテ市場ノ要永ニ合致セルノミナラズ其ノ包裝等巧ニシテ能ク商品價値ヲ向上セルモノ多キハ之ヲ賞スベシ、他地方ノ出品ニ於テ亦優秀ナルモノ尠ナカラズト雖ハム及ベーコンニ在リテハ材料ノ選擇・鹽漬・燻煙方法等ニ付一層改善ヲ要スルモノアリ、ソーセイチニ付テハ肉ノ調製・粘調度・填充方法其ノ他調味料ノ選擇等ニ付一段ノ工夫ヲ要スルモノ尠カラズ、牛肉味噌漬ニ在リテハ材料ノ選擇・包裝・風味等概ネ優良ナルモ肉片ノ形狀及切方ニ付テ留意不足ノ憾アリ、肉罐詰類ニ在リテハ其ノ他ノ種類ニ比シ諸般ノ點ニ於テ一層改善攻究ノ餘地多キヲ認ム

要之 本會出品ノ成績ハ極メテ佳良ニシテ本邦畜産業ノ發達上竝國民生活資料ノ供給上誠ニ慶賀ニ堪ヘザル所ナリ而シテ又本會ノ開催ニヨリ全國當事者ニ對シ生産ト市場トノ關係ニ付深キ認識ト正當ナル了解ヲ齎シタルハ蓋シ疑ヲ容レザル所ニシテ之又本會開催ノ効果ヲ大イニ將來ニ期待スル所以ナリト信ズ

八 博覽會一般ニ關スル批評

本博覽會ハ本邦ニ於ケル肉畜及肉製品ノ改良發達ヲ促シ併セテ食肉ニ關スル智識ノ普及啓發ヲ圖ル目的ヲ以テ開催セラレタルモノニシテ曾テ本會主催者タル財團法人中央畜産會ノ主催ヲ以テ大正十年開催セル全國畜産博覽會ニ於テ其ノ出品ノ一部トシテ八府縣ヨリ肉牛二十九頭ノ出品アリタリト雖本會ノ如ク全國的ニ各種肉畜及肉製品ノ出品ヲ網羅シタル施設ハ本邦ニ於テハ今回ヲ以テ其ノ嚆矢トス會場ハ市ノ東南部ニ邊在セル海岸埋立地ニ建設中ノ東京市營家畜市場ヲ以テ之ニ充テタル關係上審査場ニ稍狹小ノ憾アリタルノミニシテ支障ナク其ノ他諸設備良ク設ヒ主催者ノ努力ニ依リ其ノ規模ノ大ナルニ拘ラズ各般ノ會務順調ニ進ミ又本會開催ニ關スル宣傳モ相當徹底シ加フルニ會期中晴天ニ惠レタル爲全國各地ヨリ關係當業者ノ參觀スルモノ多ク一般觀覽者ノ數ハ極メテ少ナカリシガ如シト雖如上觀覽者ハ何レモ眞摯ナル研究ノ態度ヲ持シ斯業將來ノ爲裨益セル所蓋シ甚大ナルモノアルヲ認メタリ

博覽會々期中ニ中央畜産會主催ノ下ニ市内溜池三會堂ニ於テ全國畜産大會及全國牛馬商大會アリ又會場内ニ於テ畜肉及畜産製品ノ廉賣等アリ何レモ熱心ナル關係者ノ支持ヲ得畜産ノ宣傳上其ノ及ホシタル効果多大ナリシヲ疑ハズ

尙褒賞授與ト同時ニ出品中名譽賞乃至三等賞ヲ受ケタル肉牛・肉豚及肉緬羊ノ生産者ニ對シ農林大

九 道府縣別種類別出品點數表

道府縣	肉		豚		肉緬羊		肉製品		計	
	點數	人員	點數	人員	點數	人員	點數	人員	點數	人員
北海道	二	二	二	二	五	一	五	一	一三	八
青森	一	一	三	三	五	一	三	一	一〇	五
岩手	一	一	三	三	五	二	三	一	一〇	九
宮城	一	一	三	三	五	二	三	二	一〇	七
秋田	二	二	三	三	五	二	三	二	一〇	九
山形	二	二	三	三	五	二	三	二	一〇	八
福島	一	一	四	三	五	二	三	二	一〇	八
茨城	一	一	三	三	五	二	三	二	一〇	八
栃木	二	二	三	三	五	二	三	二	一〇	八
群馬	三	三	六	六	二	二	二	一	一〇	一
埼玉	三	三	六	六	二	二	二	一	一〇	一
千葉	三	三	六	六	二	二	二	一	一〇	一

臣ヨリ畜産獎勵規則第十一條ニ依リ夫々獎勵金ノ授與アリタル外入賞者中優位ノモノニ對シ富民協會・滿洲中央特産會及東京朝日・東京日々・中外商業新報社等ヨリ夫々副賞ノ贈與アリタリ

肉	肉	出品種類	出品	擬賞等級	擬賞人員	出品人員ニ對スル擬賞人員ノ割合					
豚	牛										
九三	九三	點數	人員	名譽賞	一等賞	二等賞	三等賞	四等賞	計	人員	割合
九三	九三	二	三	七	六	一	三	三	三	七	七
七	六	一	三	三	三	三	三	三	三	七	七
七	四	七	四	七	四	七	四	七	四	七	四
七	九	八	〇	八	〇	八	〇	八	〇	八	〇
七	九	七	九	七	九	七	九	七	九	七	九

一七九

十擬賞概表

備考 全國中出品ナキハ福井・奈良・高知・佐賀・長崎・宮崎・沖繩ノ七縣トス

鹿	大熊	福愛	香德	山廣
計	兒	島	分	本
九三	四二	二二	七六	五六
九三	四二	二二	七六	五六
九三				
九三				
四二				
四二				
一〇	一	二	三	〇
三	一	一	一	三
三七	五	二	四	二
三七	五	二	四	二
二	五	二	四	一
二	五	二	四	一

岡島	鳥和	兵大	京滋	三愛	靜岐	長山	石富	新神	東奈
山根	取山	庫阪	都賀	重知	岡阜	野梨	川山	瀉川	京
五	二	六	二	四	九	八	三	三	一
五	二	六	二	四	九	八	三	三	一
二	二	二	二	二	三	四	二	四	二
二	二	二	二	二	三	四	二	四	二
二	二	二	二	二	三	四	二	四	二
一	一	五	二	五	二	八	〇	一	四
一	一	四	二	一	一	二	一	一	三
五	三	二	二	三	四	九	九	二	四
五	三	二	二	三	四	九	九	二	四
五	三	二	二	三	四	九	九	二	四
五	三	二	二	三	四	九	九	二	四

一七八

出品道府縣	第三部 肉 緬 羊	計	香	廣	島	鳥	兵	三	愛	靜	岐	長	山	石	富	新		
		川	島	根	取	庫	重	知	岡	阜	野	梨	川	山	瀉			
		九	二	二	二	二	二	二	三	四	二	四	二	二	二	三		
		九	二	二	二	二	二	二	三	四	二	四	二	二	二	三		
		二																
		七																
		一〇																
		三〇																
		二五																
		七四	一	二	一	一	二	二	二	四	一	二	二	一	二	二	三	
七・九六	五〇	一〇〇	五〇	五〇	一〇〇	一〇〇	六七	一〇〇	五〇	五〇	一〇〇	五〇	一〇〇	六〇				

出品道府縣	第二部 肉 豚	計	神	東	千	埼	群	栃	茨	福	山	秋	宮	岩	青	北		
		川	京	葉	玉	馬	木	城	島	形	田	城	手	森	道			
		八	五	七	六	六	三	四	三	三	三	三	三	三	三	三	二	
		八	五	七	六	六	三	四	三	三	三	三	三	三	三	三	二	
		一																
		二																
		二																
		二																
		二																
		八	三	六	六	六	二	三	三	三	三	二	二	二	二	一		
一〇〇	六〇	八六	一〇〇	一〇〇	六七	七五	一〇〇	一〇〇	六七	六七	六七	六七	六七	五〇				